

上田市立地適正化計画改定(案)【資料編】

～ 人々が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを目指して ～

2023(令和5)年 11 月時点

長野県上田市

目 次

1. 地勢等

1-1 位置・地勢	1
1-2 気象	2
1-3 歴史・文化	3

2. 人口等関連

2-1 人口の推移	4
2-2 人口動態	6
2-3 地区別人口	7
2-4 将来人口の推計・現状との比較	14
2-5 人口集中地区(DID)の変遷	15
2-6 道路・交通	17
2-7 通勤・通学	20

3. 産業関連

3-1 産業別就業人口	21
3-2 商業	22
3-3 工業	22

4. 各種施設等

4-1 公共施設	23
4-2 教育施設(小学校)	24
4-3 教育施設(中学校)	25
4-4 子育て支援施設	26
4-5 商業施設	27
4-6 医療施設	28
4-7 福祉施設	29
4-8 公共交通	30

5. 災害関連

5-1 災害の状況	35
5-2 災害リスク(土砂災害(特別)区域・浸水想定区域)	38

6. 土地利用関連

6-1 土地利用	39
6-2 農地転用	41
6-3 開発行為	42
6-4 地価の動向	44
6-5 空き家	46
6-6 新築動向	49

7. 財政関連

7-1 財政状況	53
7-2 財政力	54
7-3 財政状況の比較	55

8. 現行計画の評価・検証

8-1 居住誘導区域内の人口密度	56
------------------------	----

9. 災害リスクの分析

9-1 洪水(想定最大規模)	58
9-2 洪水(計画規模)	65
9-3 土砂災害	71

10. その他関連資料

10-1 策定経緯	78
10-2 上田市都市計画審議会委員名簿	79

1. 地勢等

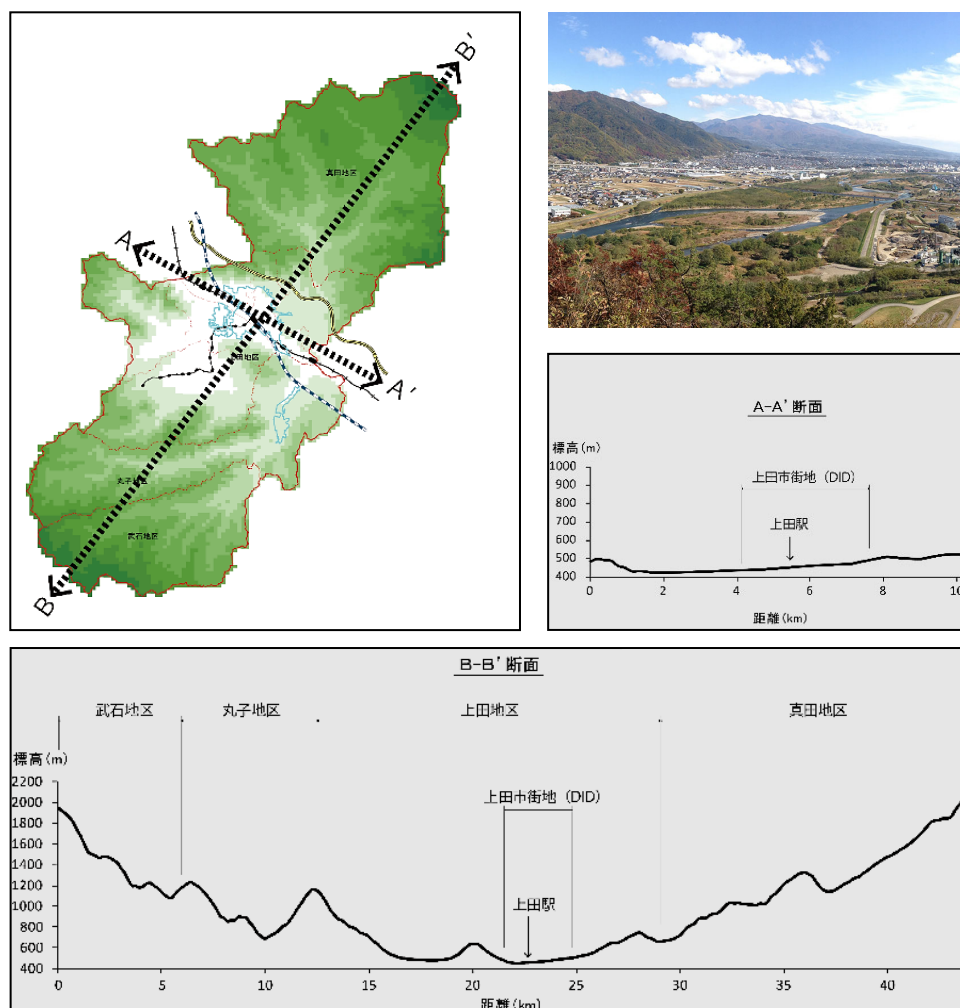
1-1 位置・地勢

上田市は、長野県の中央からやや東北部に位置し、県庁所在都市である長野市から約40km、東京から約190kmに位置し、面積は552.04km²です。市域は、松本市、須坂市、長野市、千曲市、東御市、長和町、青木村、坂城町、立科町、筑北村、嬬恋村（群馬県）と接しています。

北部は菅平高原を中心とした、四阿山（2,354m）、根子岳（2,207m）の他、烏帽子岳（2,066m）などの2,000m級の山、南部は美ヶ原高原を中心とした、王ヶ頭（2,034m）、物見石山（1,985m）、武石峰（1,973m）などがあります。また、塩田地区の南部には、独鈷山（1,266m）、本市中心部の北側には、太郎山（1,164m）などがあります。

本市は全域が信濃川水系に属し、本流である千曲川の支流の主な水系としては以下が挙げられます。

- ・神川水系：市域北部を南流し、岩下地区付近で千曲川に合流する。傍陽川などを支流。
- ・浦野川水系：市域中央部の川西地区、塩田地区を流域とし、小泉地区付近で千曲川に合流する。産川、湯川などを支流。
- ・依田川水系：市域南部の丸子地区、武石地区を流域として北流し、生田地区付近で千曲川に合流する。依田川のほか、内村川、武石川などを支流。

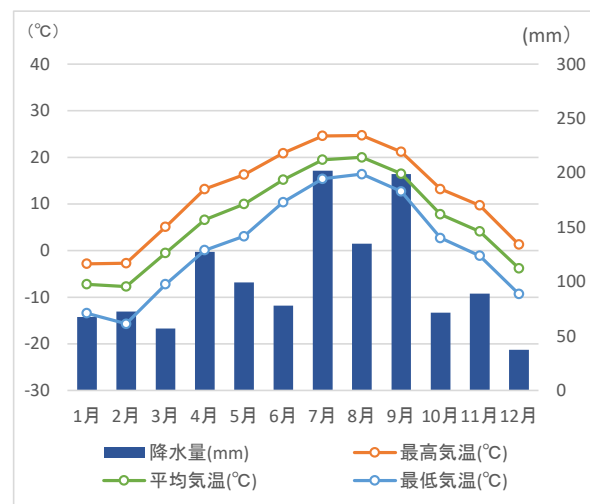
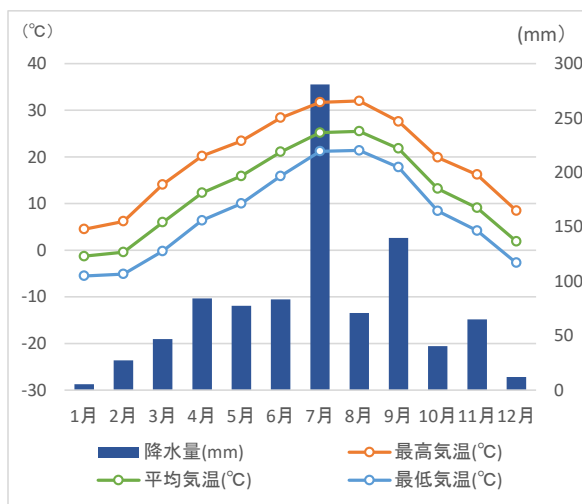


[図・上田市の地形]

1-2 気象

2022（令和4）年における気象庁データによる上田地域の年平均気温は12.5℃で、年の平均最高気温で最も高いのは8月の32℃、平均最低気温で最も低いのは1月の-5.5℃であり、昼夜及び冬夏の気温の差が大きい典型的な内陸性気候です。また、年間降水量が約900mmと全国でも有数の少雨地域となっています。

また、市北部の菅平地域では、年の平均気温が約7℃であり、平均最高気温が最も高い8月でも約24.7℃であり、夏は避暑地として観光客に親しまれています。一方、冬期の降水量（降雪量）が多くなっており、平均最低気温で最も低いのが1月の約-13.4℃と冬期の厳しい気象状況が伺えます。



上田の気候												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温(°C)	4.5	6.2	14.1	20.2	23.4	28.4	31.7	32	27.6	19.9	16.2	8.5
平均気温(°C)	-1.3	-0.4	6	12.3	15.9	21.1	25.2	25.5	21.8	13.2	9.1	1.9
平均最低気温(°C)	-5.5	-5.1	-0.2	6.4	10	15.9	21.2	21.4	17.8	8.4	4.2	-2.7
降水量(mm)	5.5	27.5	47	84.5	77.5	83.5	281	71	140	40.5	65	12
日射時間(h)	218.8	196.6	237.1	213.5	222.3	211.5	176.3	175.7	150.3	159.2	175.5	194

菅平の気候												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温(°C)	-2.8	-2.7	5.1	13.2	16.3	20.9	24.6	24.7	21.2	13.2	9.7	1.3
平均気温(°C)	-7.2	-7.7	-0.5	6.6	10	15.2	19.5	20	16.5	7.8	4.1	-3.8
平均最低気温(°C)	-13.4	-15.7	-7.2	0.1	3.1	10.4	15.4	16.4	12.7	2.7	-1.1	-9.3
降水量(mm)	67.5	72.5	57	127.5	99.5	78	202	135	199	71.5	89	37.5
日射時間(h)	146	134.2	189.9	199.6	211.7	198.3	149.5	152	131.5	156.3	176	159.7

[図表・月別平均最高・平均・最低気温及び降水量などの推移（2022（R4）年） 左：上田 右：菅平]

資料：気象庁

1-3 歴史・文化

(1) 歴史的条件

本市の歴史は古く、大和時代には国造(くにのみやつこ)※がこの地に派遣され、信濃国の政治・文化の中心地になっていたと考えられており、奈良時代には国分寺などが建立され、信濃国で最初の国府が置かれた地との説もあります。鎌倉時代には幕府の信濃守護職である北条氏が塩田に居を構え、鎌倉の仏教文化を花咲かせました。この塩田平は信州の鎌倉といわれ、多くの歴史的建造物や史跡が残されています。また、戦国時代に名を轟かせた真田氏発祥の地であり、1583(天正11)年に上田城を築いた真田昌幸は徳川軍の侵攻を二度にわたって退けましたが、関ヶ原の戦いでの石田方敗北により、この上田城は徳川方に接收・破壊されてしまいます。その後1626(寛永3)年より上田城の復興に仙石忠政が取り掛かり、城下町として、また、北国街道の宿場町として発展していくこととなります。

明治時代以降からは養蚕業の発達とともに全国有数の蚕種の生産地となり、全国の蚕糸業を支える「蚕都(さんと)」として隆盛を極めました。その後もこれらで培った技術力などを活かしながら、工業をはじめ、商業、農業、観光などバランスの取れた長野県東部の中核都市として着実な発展を遂げてきています。

※律令制が導入される以前のヤマト王権の職種・姓の一つ。ヤマト王権の行政区分の一つである国の長と言う意味。

(2) 指定文化財

本市は多くの歴史遺産や自然景観などに恵まれており、国宝をはじめとする数多くの指定文化財があり、市内の各地に存在しています。

種 別	件 数	主なもの
国指定文化財	19	安楽寺八角三重塔、上田城跡、信濃国分寺跡、鳥羽山洞窟遺跡、四阿山の的岩 ほか
重要美術品(国)	2	紙本墨書徳川家康日課念仏 板絵着色三浦屋の図
登録文化財(国)	7	上田蚕種協業組合事務棟、信州大学繊維学部講堂、依水館母屋 ほか
選択無形民族文化財(国)	3	八日堂の蘇民将来符領布習俗、別所温泉の岳の幟行事、戸沢のねじ行事
県指定文化財	27	上田城跡(南櫓、北櫓、西櫓)、真田氏館跡、生島足島神社歌舞伎舞台 ほか
市指定文化財	232	荒神宮本殿、旧上田市立図書館、安良居神社本殿、真田氏本城跡、妙見寺鳴龍 ほか

資料：H24 都市計画基礎調査



安楽寺八角三重塔(国宝)



上田城跡(国史城)



信廣寺のシダレザクラ(市天然)



真田氏館跡(県史跡)



法住寺虚空蔵堂(国重文)

[図表・文化財指定状況]

2. 人口等関連

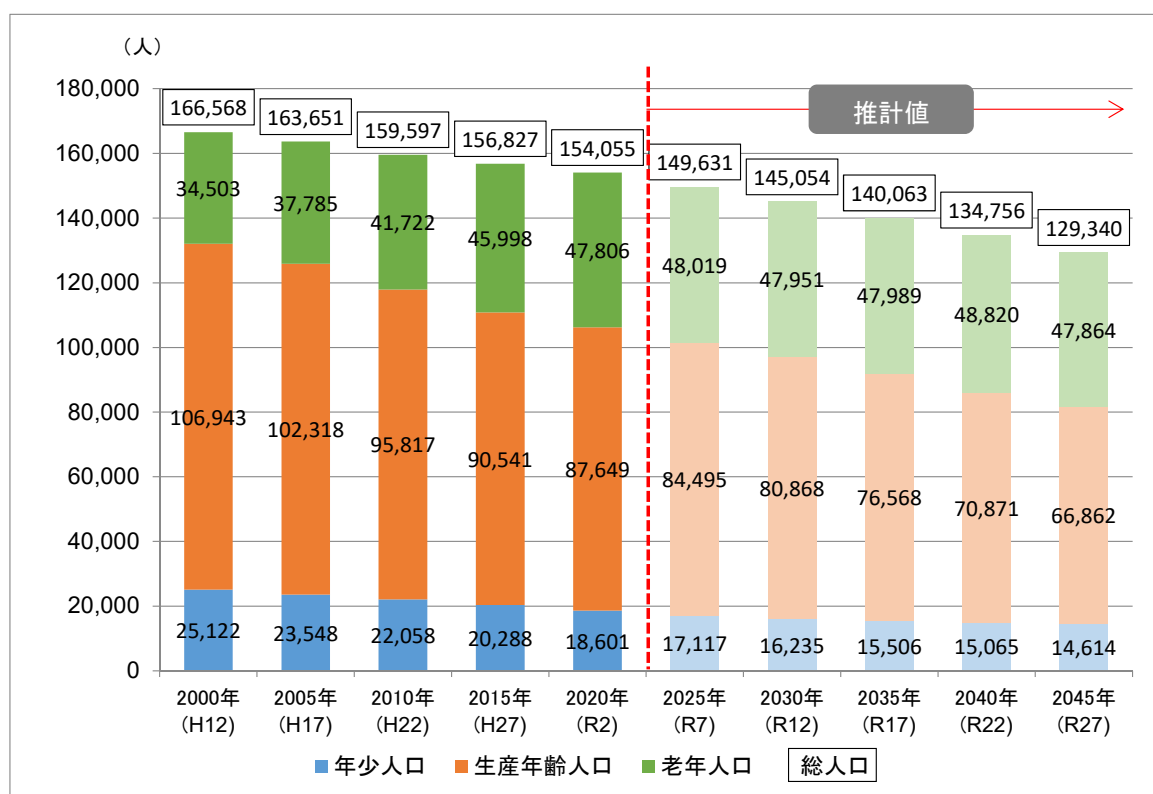
2-1 人口の推移

2000（平成12）年から2020（令和2）年の本市の人口推移を見ると、総人口は経年的に減少傾向にあり、2025（令和7）年以降もその傾向は継続するものと予測されています。

2020（令和2）年において総人口154,055人だったものが、10年後の2030（令和12）年には145,054人に、2045（令和27）年には129,340人と13万人を下回ると予想されています。

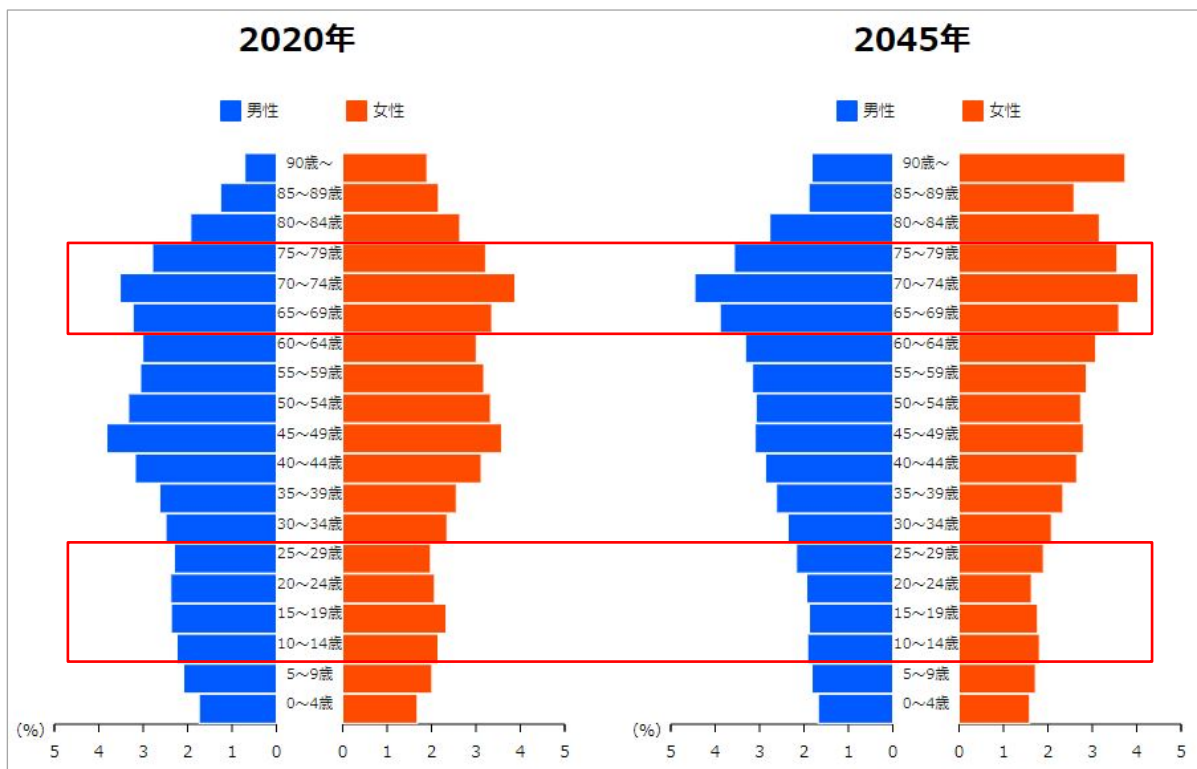
年少人口、生産年齢人口は市の総人口の減少に伴い減少しますが、老年人口はほぼ横ばいで推移し今後は高齢者の更なる高齢化が進むものと予想されています。

年齢別構成では、70歳前後の人口が多く、30歳以下の若年層が少ない構造となっています。



[図・人口の推移、将来予測]

資料：2000（H12）年～2020（R2）年は国勢調査、2025（R7）年以降は社会保障・人口問題研究所推計



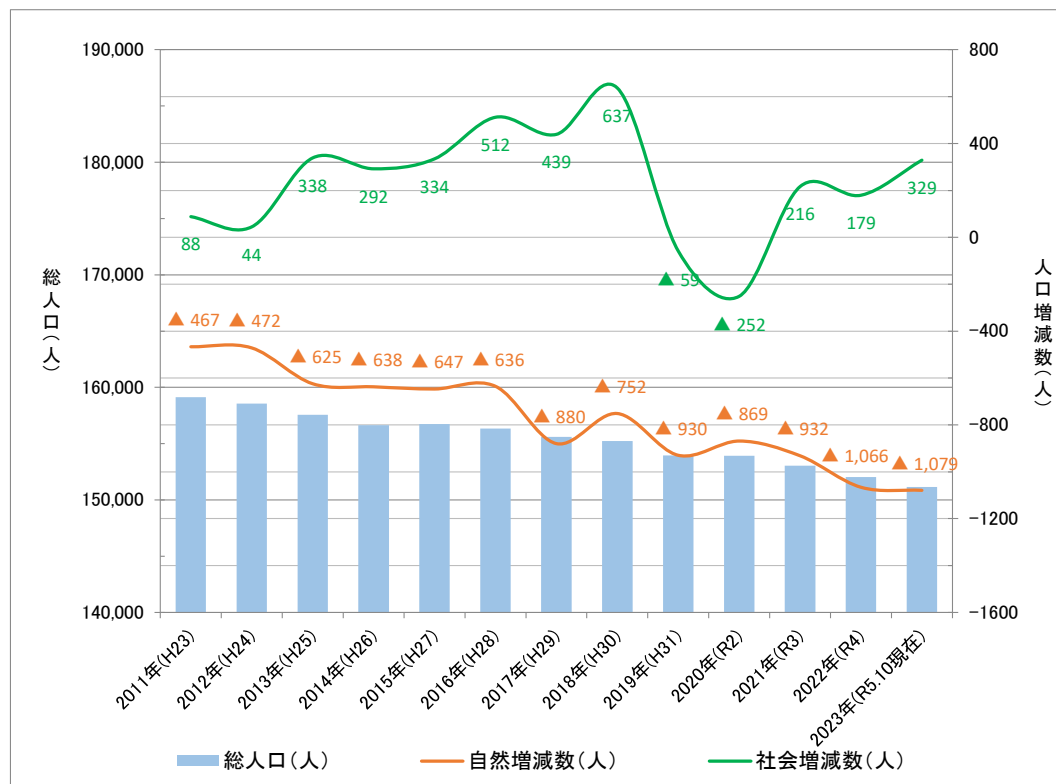
[図・人口ピラミッド]

資料：2020 (R2) 年は国勢調査、2045 (R27) 年は社会保障・人口問題研究所推計

2-2 人口動態

2011（平成23）年から2023（令和5）年10月現在の本市の人口動態の推移を見ると、自然増減数（出生数－死亡数）は波があるものの経年的に減少傾向にあり、2019（平成31）年以降の近年は減少幅が大きくなっています。

一方、社会増減数（転入－転出）は、2018（平成30）年まで増加傾向にありましたが、2019（平成31）年と2020（令和2）年には減少に転じました。しかしながら、2021（令和3）年以降は再度転入超過に転じています。



年次	総人口	出生	死亡	自然増減数	転入	転出	社会増減数	人口動態
2011 (H23) 年	159,137	1,294	1,761	-467	5,153	5,065	88	-379
2012 (H24) 年	158,548	1,278	1,750	-472	4,676	4,632	44	-428
2013 (H25) 年	157,551	1,217	1,842	-625	4,699	4,361	338	-287
2014 (H26) 年	156,649	1,191	1,829	-638	4,790	4,498	292	-346
2015 (H27) 年	156,742	1,197	1,844	-647	4,922	4,588	334	-313
2016 (H28) 年	156,344	1,138	1,774	-636	4,893	4,381	512	-124
2017 (H29) 年	155,609	1,084	1,964	-880	4,876	4,437	439	-441
2018 (H30) 年	155,232	1,138	1,890	-752	5,299	4,662	637	-115
2019 (H31) 年	153,938	1,009	1,939	-930	4,830	4,889	-59	-989
2020 (R2) 年	153,923	1,032	1,901	-869	4,307	4,559	-252	-1,121
2021 (R3) 年	153,043	931	1,863	-932	4,584	4,368	216	-716
2022 (R4) 年	152,021	976	2,042	-1,066	4,822	4,643	179	-887
2023 (R5) 年10月現在	151,158	725	1,804	-1,079	4,392	4,063	329	-750

〔図表・人口動態〕

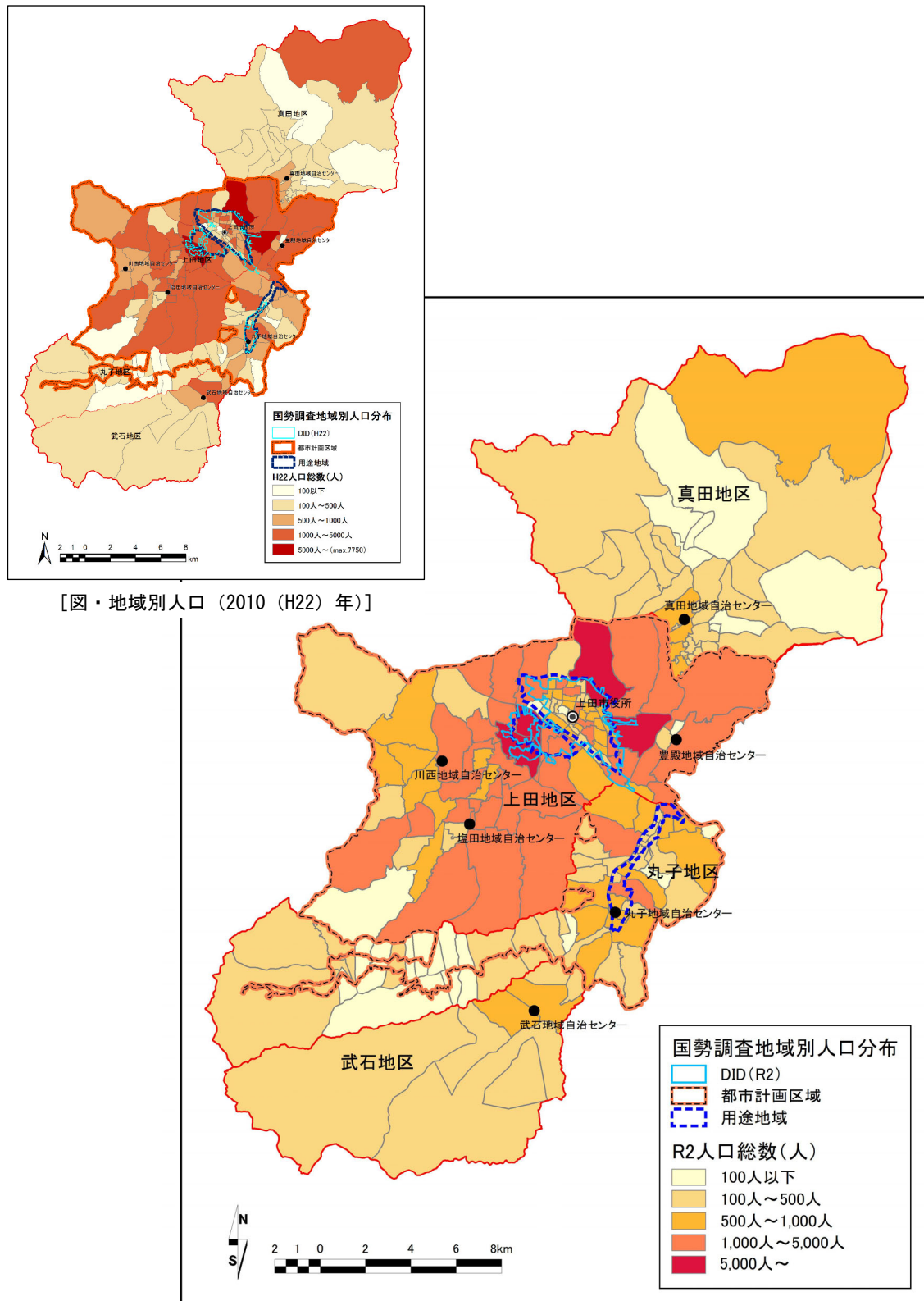
資料：長野県毎月人口異動調査

2-3 地区別人口等

(1) 地区別人口

用途地域内及びその周辺で人口規模の高い地区（「5,000人以上」と「1,000～5,000人」）がある状況にあまり変化はありません。

一方、川西地域や真田地域での減少が目立っています。



[図・地域別人口（2010（H22）年）]

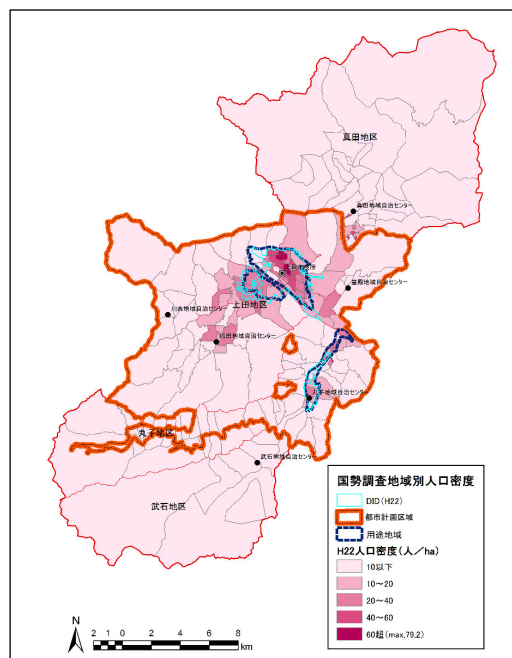
[図・地域別人口（2020（R2）年）]

資料：国勢調査

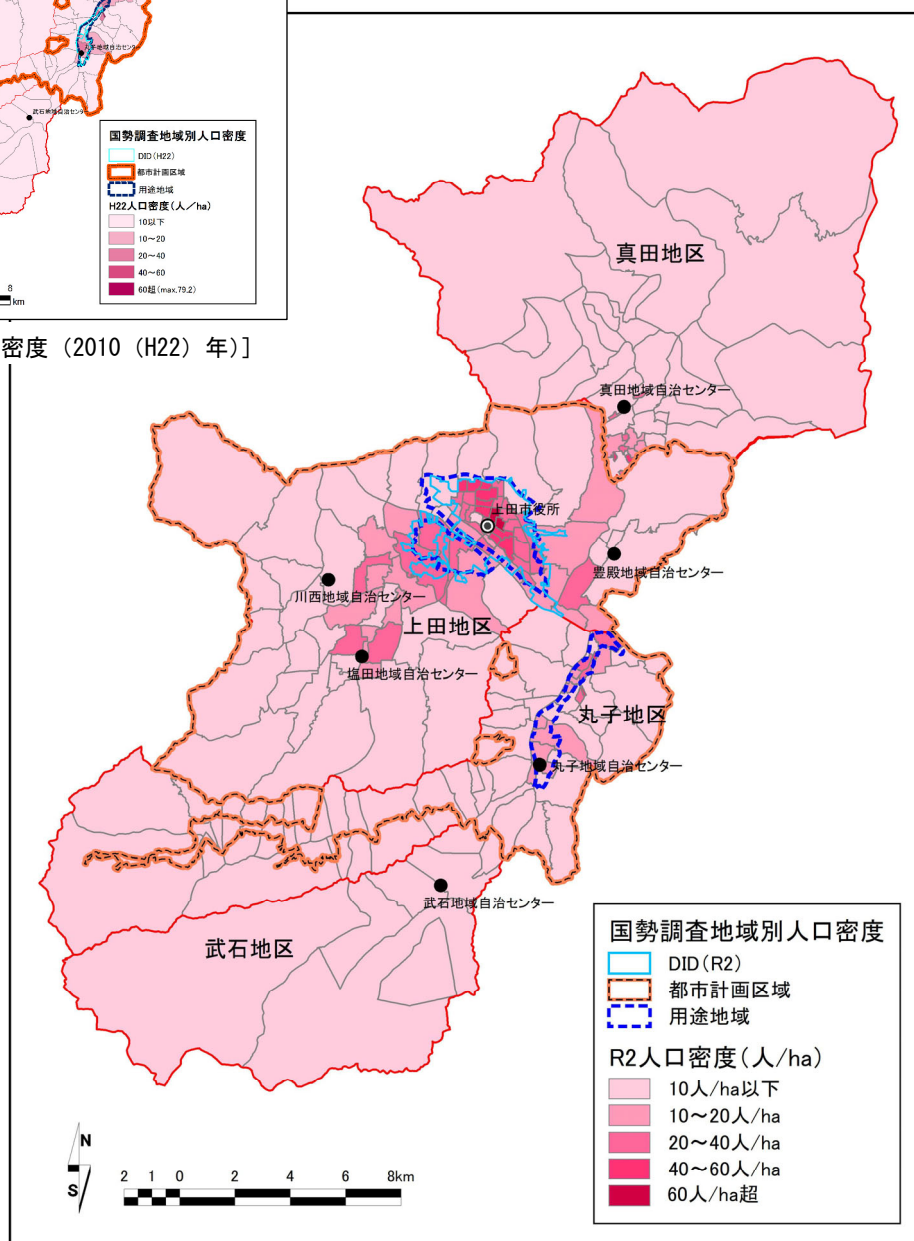
(2) 地区別人口密度

上田用途地域内において 40 人/ha 以上の地区が見られることに変化はありません。

上田及び丸子用途地域外隣接地区において、比較的高い人口密度を示している地区があることにも大きな変化はありません。



[図・地域別人口密度 (2010 (H22) 年)]



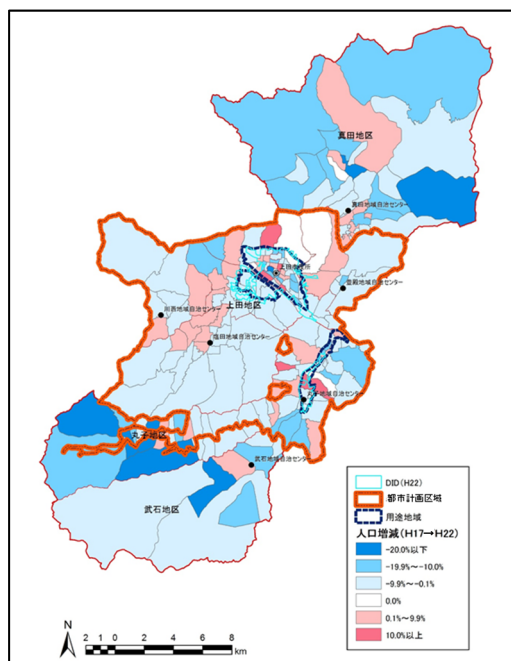
[図・地域別人口密度 (2020 (R2) 年)]

資料：国勢調査

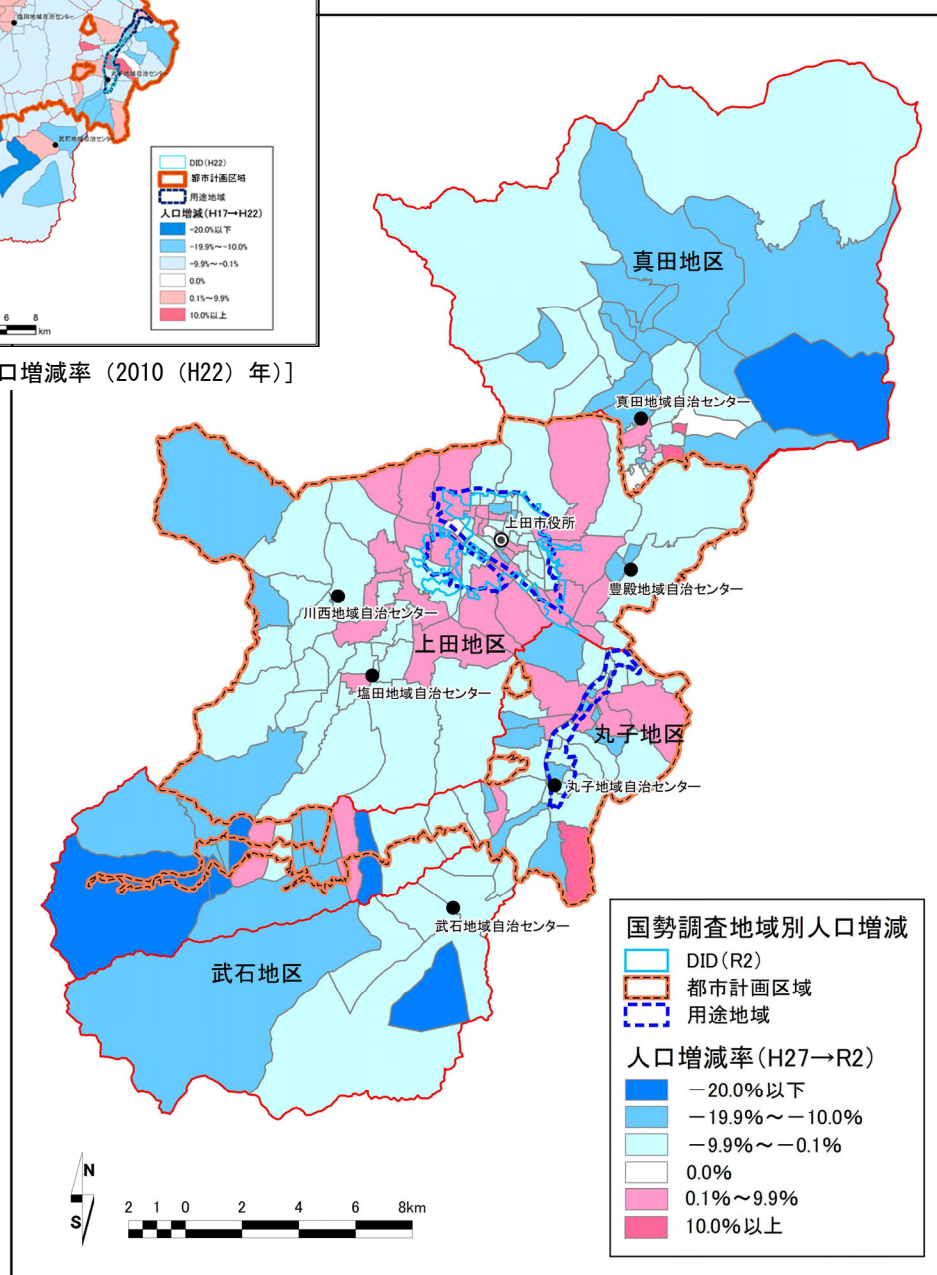
(3) 地区別人口増減率

全般的に 10%未満の減少率の地区が多くを占めており、特に川西地域や武石地域、真田地域で減少率が高くなった地区がみられます。

一方、上田・丸子の用途地域隣接部において増加率が高くなった地区が見られます。

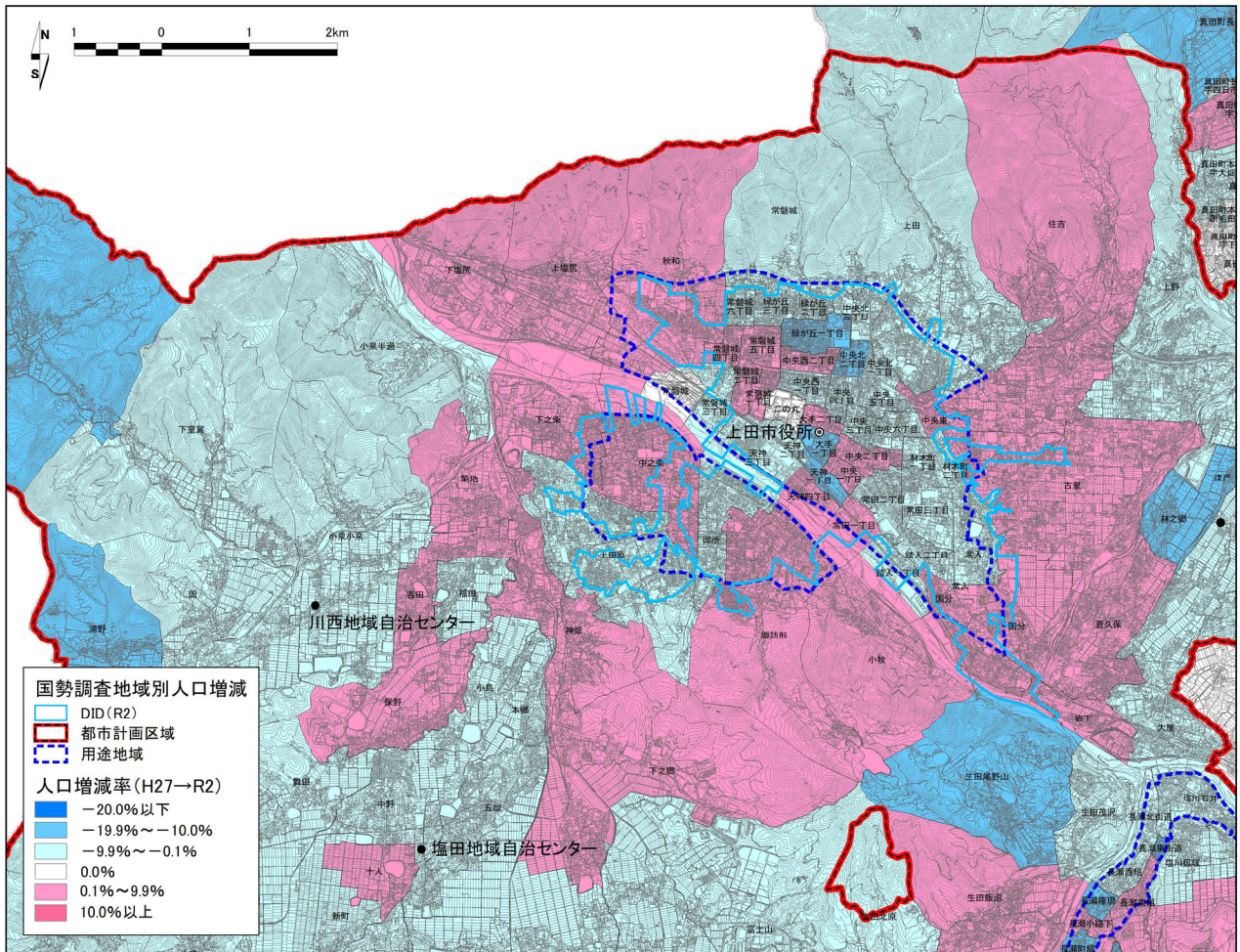


[図・地域別人口増減率 (2010 (H22) 年)]



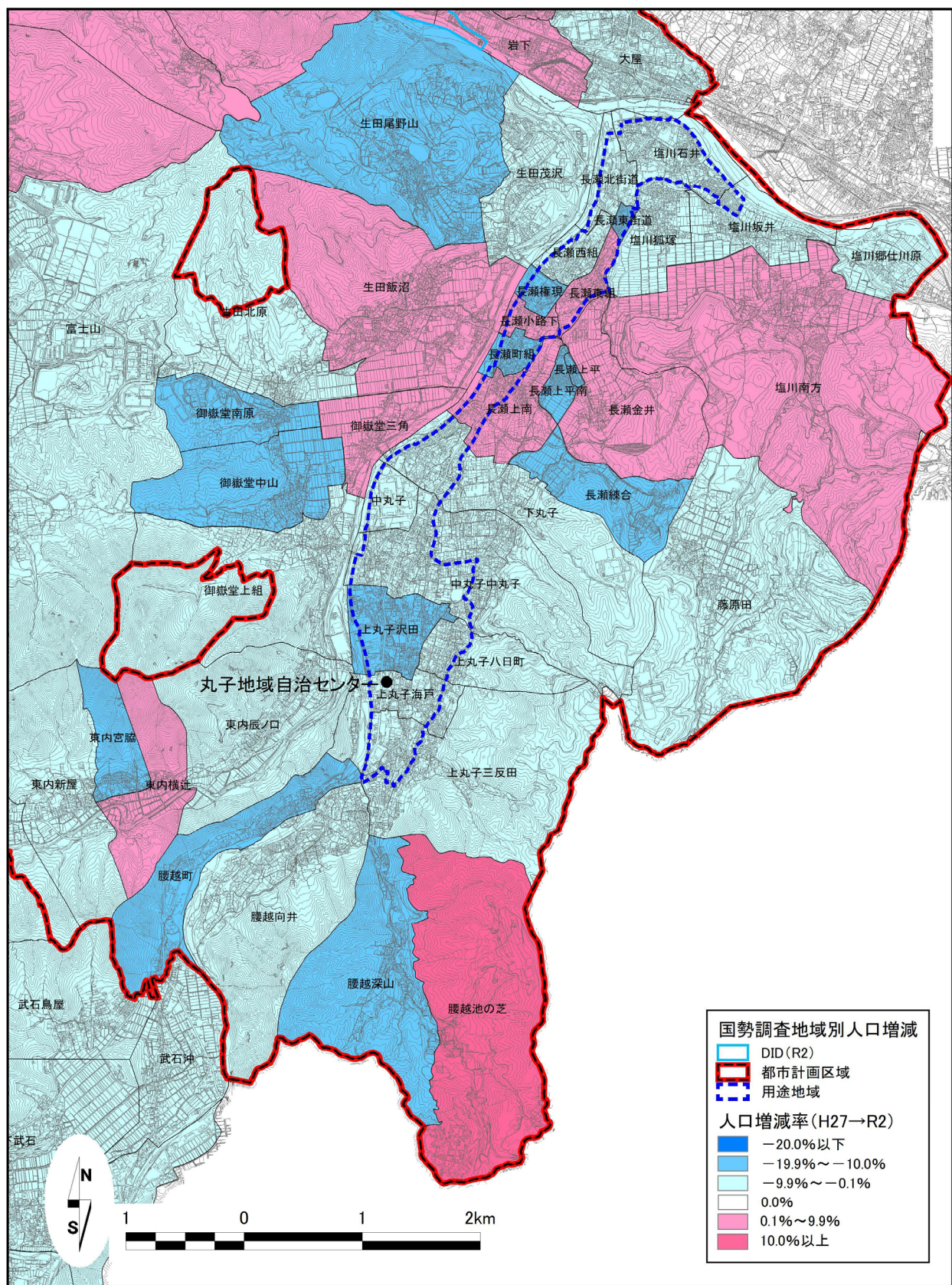
[図・地域別人口密度 (2020 (R2) 年)]

資料：国勢調査



〔図・地域別人口密度（2020（R2）年）〕（上田用途地域周辺）

資料：国勢調査



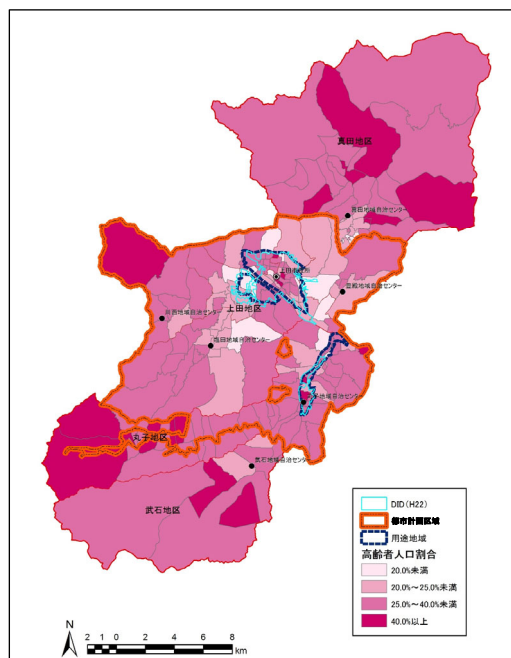
〔図・地区別人口密度（2020（R2）年）〕（丸子用途地域周辺）

資料：国勢調査

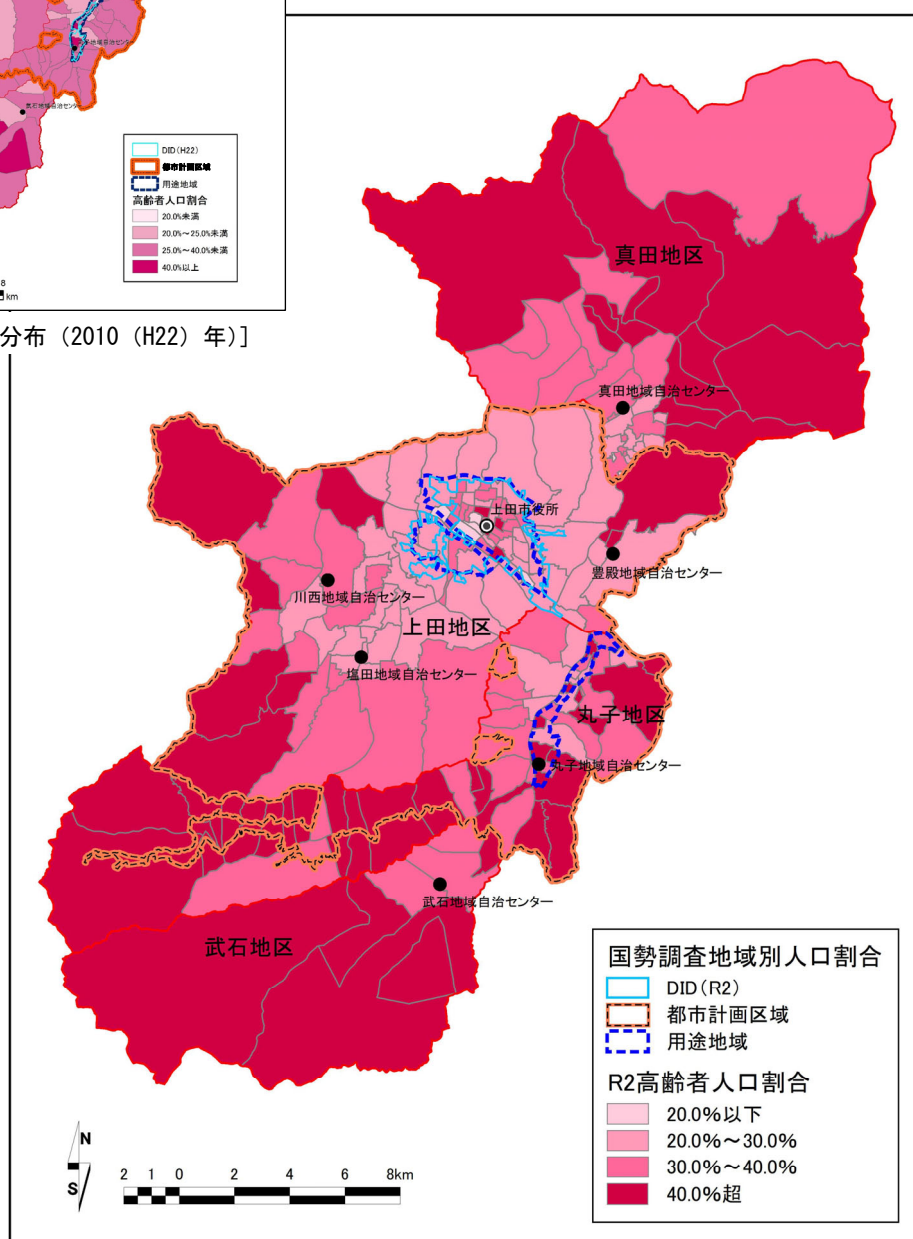
(4) 地区別高齢者人口割合

地区別高齢者人口割合は全市的に高い値に推移し、40%超の地区が多くなっており、特に武石地域、真田地域において顕著になっています。

上田用途地域内においても 40%超の地区が見られます。



〔図・高齢者人口分布（2010（H22）年）〕



〔図・高齢者人口分布（2020（R2）年）〕

資料：国勢調査

(5) 居住誘導区域人口増減率

2015（平成 27）年から 2020（令和 2）年の居住誘導区域の人口増減率を見ると、上田地域、丸子地域ともに、居住誘導区域で人口が減少しています。

しかしながら、用途地域指定区域全体の人口は微増しており、居住誘導区域外における人口増加が見られます。

区 域	年 次	2015 年 (H27) 人口	H27～R2 の増減		2020 年 (R2) 人口
			人口	率	
行政区域		人 156,827	人 △ 2,772	% △ 1.8	人 154,055
都市計画区域		143,436	△ 1,879	△ 1.3	141,557
用途地域指定区域 計		50,906	19	0.0	50,925
居住誘導区域（上田地域Ⅰ）		24,687	△ 762	△ 3.1	23,925
都市機能誘導区域		11,412	△ 256	△ 2.2	11,156
居住誘導区域（上田地域Ⅱ）		12,668	744	5.9	13,412
居住誘導区域（丸子地域）		4,634	△ 695	△ 15.0	3,939
都市機能誘導区域		1,642	△ 147	△ 9.0	1,495
居住誘導区域外		8,917	732	8.2	9,649
用途地域指定外区域		92,530	△ 1898	△ 2.1	90,632

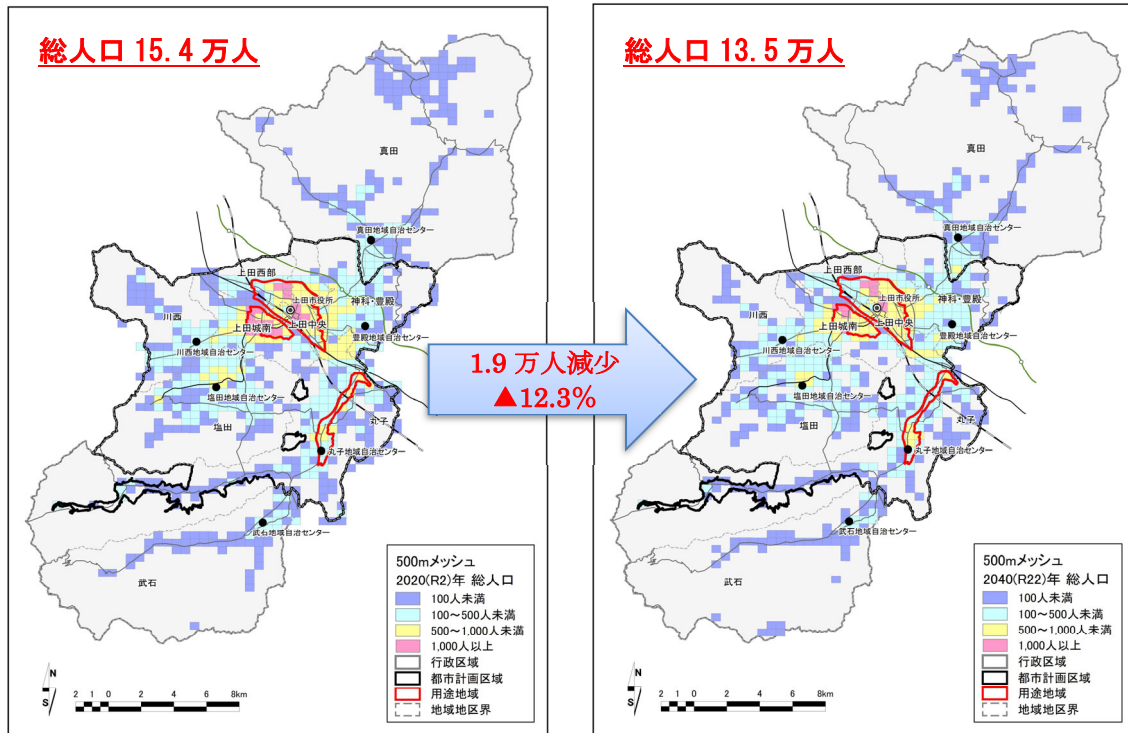
[表・居住誘導区域人口増減率]

資料：R3 都市計画基礎調査

2-4 将来人口の推計・現状との比較

(1) 総人口

将来の人口推計（総人口）では、上田用途地域内での人口減少が目立っています。



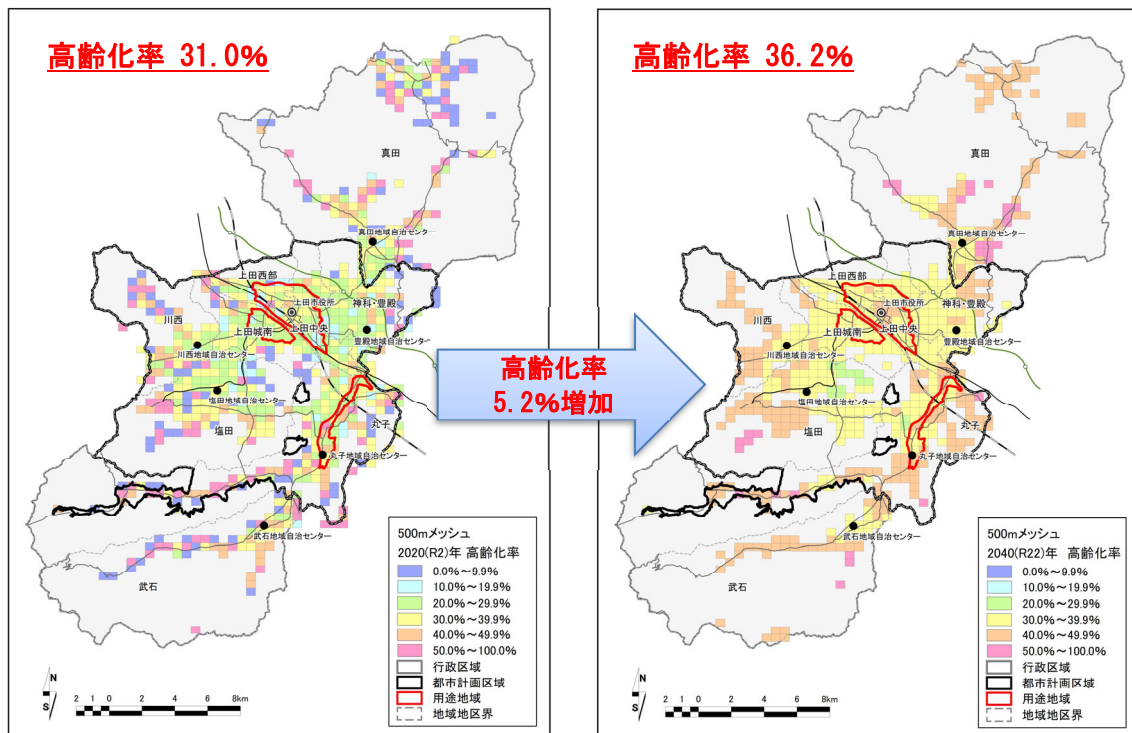
〔図・2020 (R2) 年人口メッシュ〕

〔図・2040 (R22) 年人口メッシュ〕

資料：2020 (R2) 年は国勢調査、2040 (R22) 年は国土数値情報

(2) 高齢化率の変化 (65 歳以上)

将来の人口推計（高齢化率）では、全市的な高まりが顕著で、大部分が 30% 以上となることが予測されます。



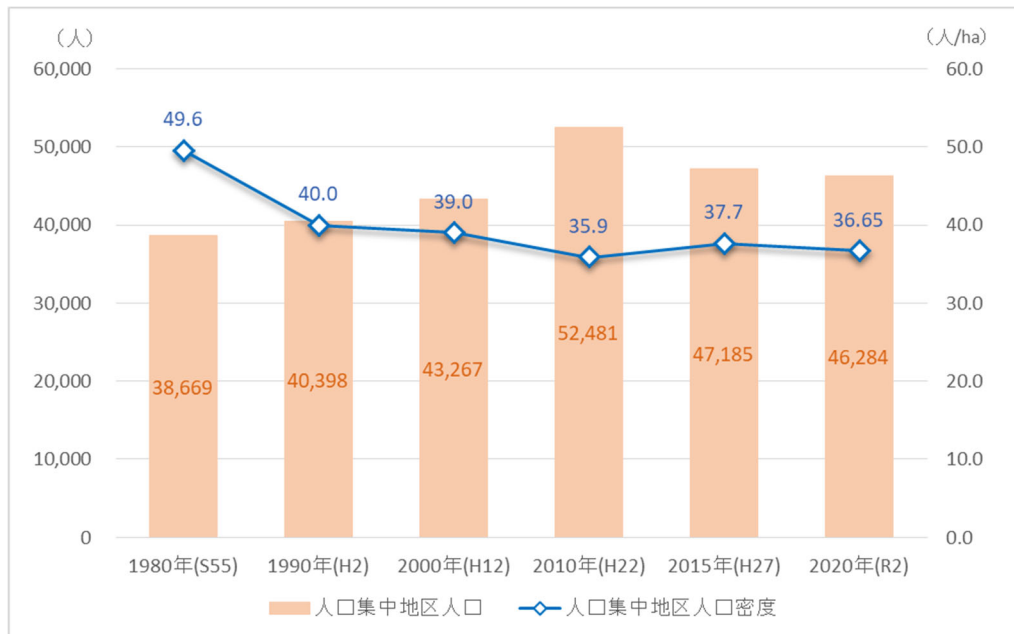
〔図・2020 (R2) 年人口メッシュ〕

〔図・2040 (R22) 年人口メッシュ〕

資料：2020 (R2) 年は国勢調査、2040 (R22) 年は国土数値情報

2-5 人口集中地区（DID）の変遷

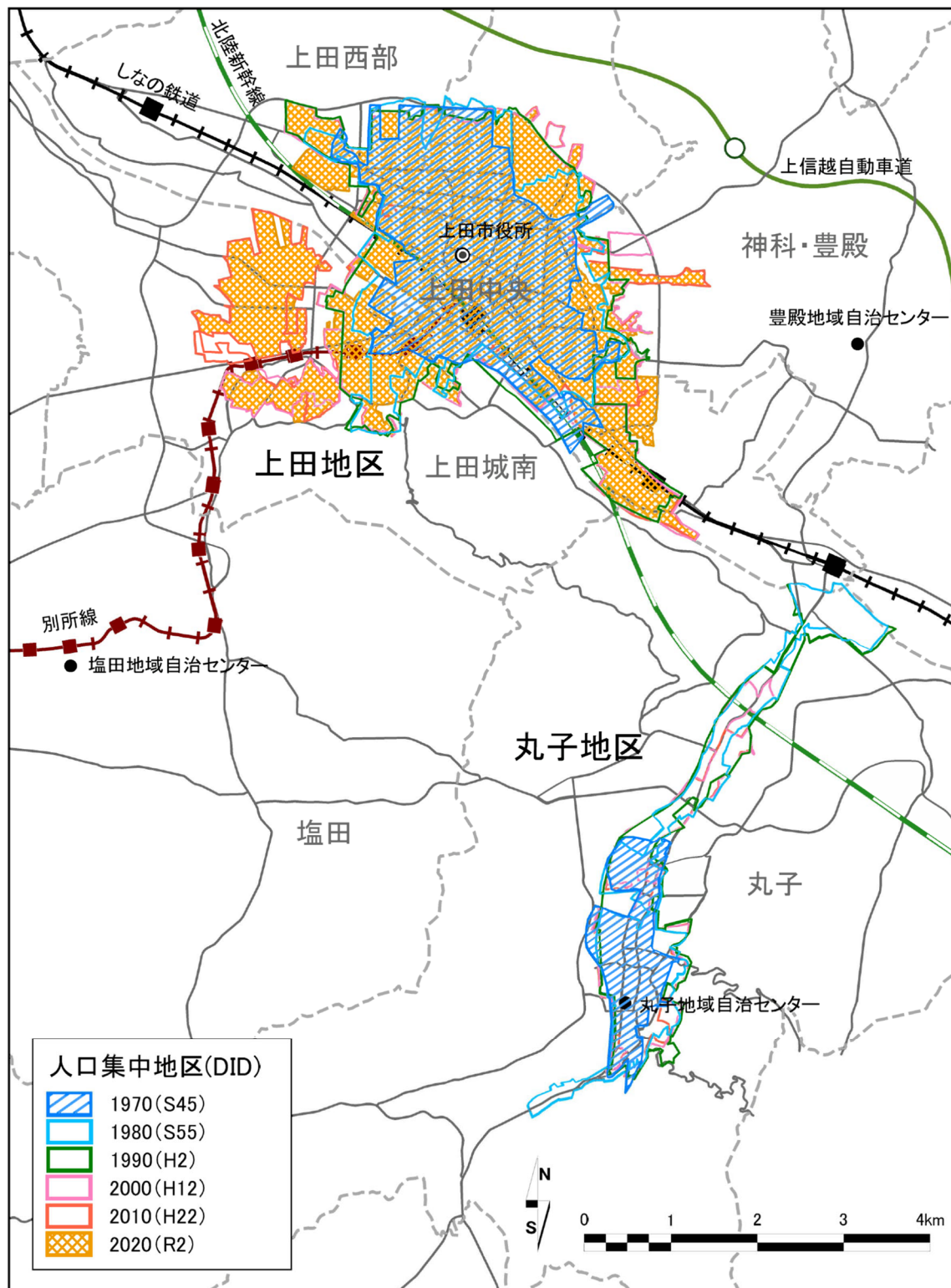
人口集中地区人口は2010（平成22）年までは増加傾向にありましたが、2015（平成27）年の国勢調査で丸子地区の人口集中地区が除外され、また市全体の人口も減少傾向にあるため、それと同調するように人口集中地区人口も減少傾向に転じています。人口集中地区人口密度は、近年横ばい傾向にあります。



年次	人口集中地区人口 (人)	面積 (ha)	人口集中地区人口密度 (人/ha)
1980 (S55) 年	38,669	780.0	49.6
1990 (H2) 年	40,398	1,010.0	40.0
2000 (H12) 年	43,267	1,109.0	39.0
2010 (H22) 年	52,481	1,463.0	35.9
2015 (H27) 年	47,185	1,253.0	37.7
2020 (R2) 年	46,284	1,263.0	36.65

[図表・人口集中地区人口・人口密度の推移]

資料：上田市の統計、国勢調査



[図・人口集中地区の変遷]

資料：国勢調査

2-6 道路・交通

(1) 広域交通網

上信越自動車道や北陸新幹線など、本市と周辺都市及び主要都市圏を結ぶ広域交通網が整備されており、生活範囲、経済活動、観光誘客など多様な分野での効果を期待した利活用がされています。



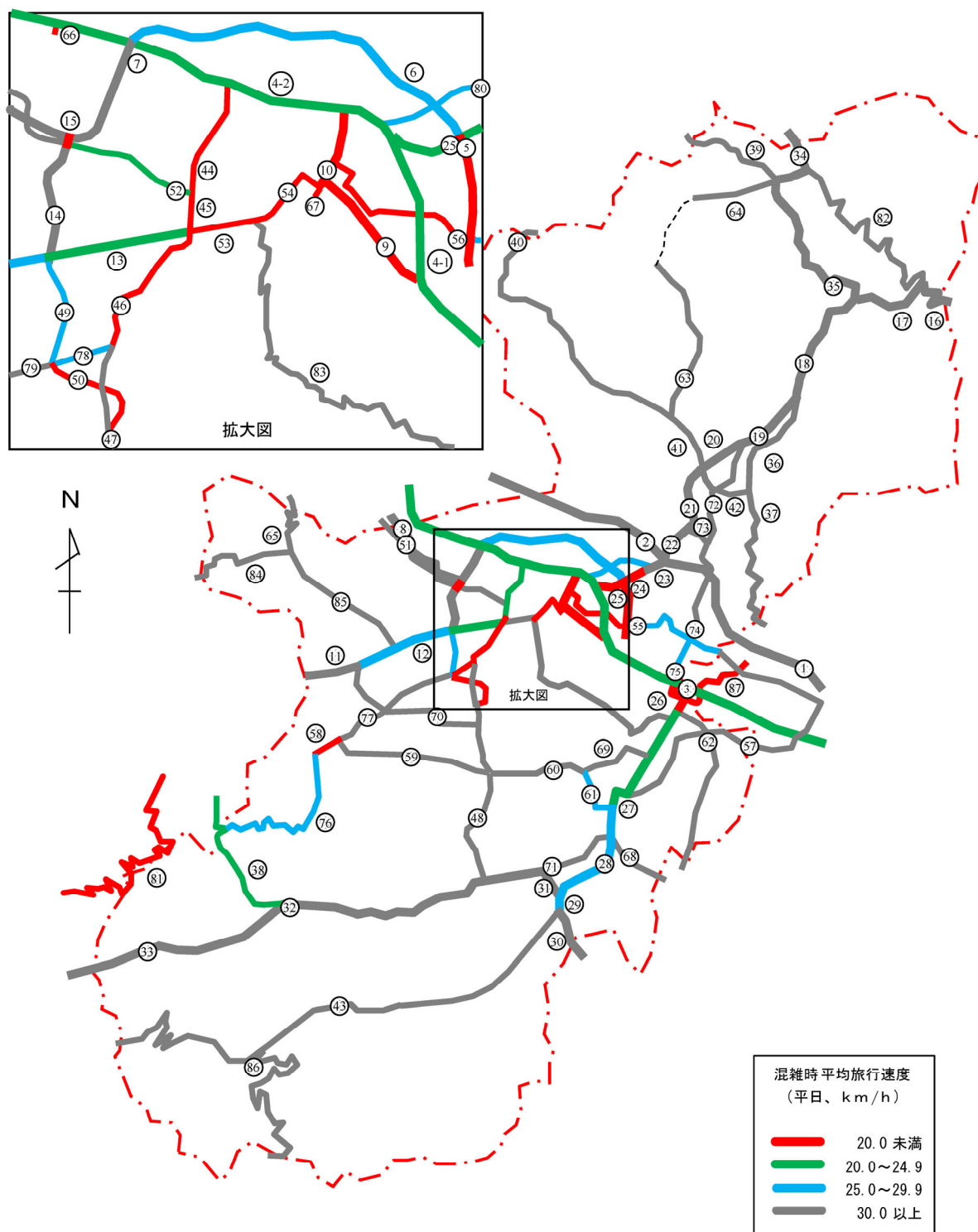
〔図・長野県の広域交通網計画〕

資料：長野県新交通ビジョン（平成25年3月）

(2) 市内の交通現況

<主要幹線道路>

市内の主要幹線道路における混雑時の平均旅行速度を見ると、国道 18 号上田バイパス（位置図番号：5）や（主）上田丸子線（位置図番号：44、46、50）、（主）長野上田線（位置図番号：53、54）など、20.0km/h 未満となる路線が中心市街地周辺地域に多くあり、自動車交通が集中すると同時に混雑区間が生じています。

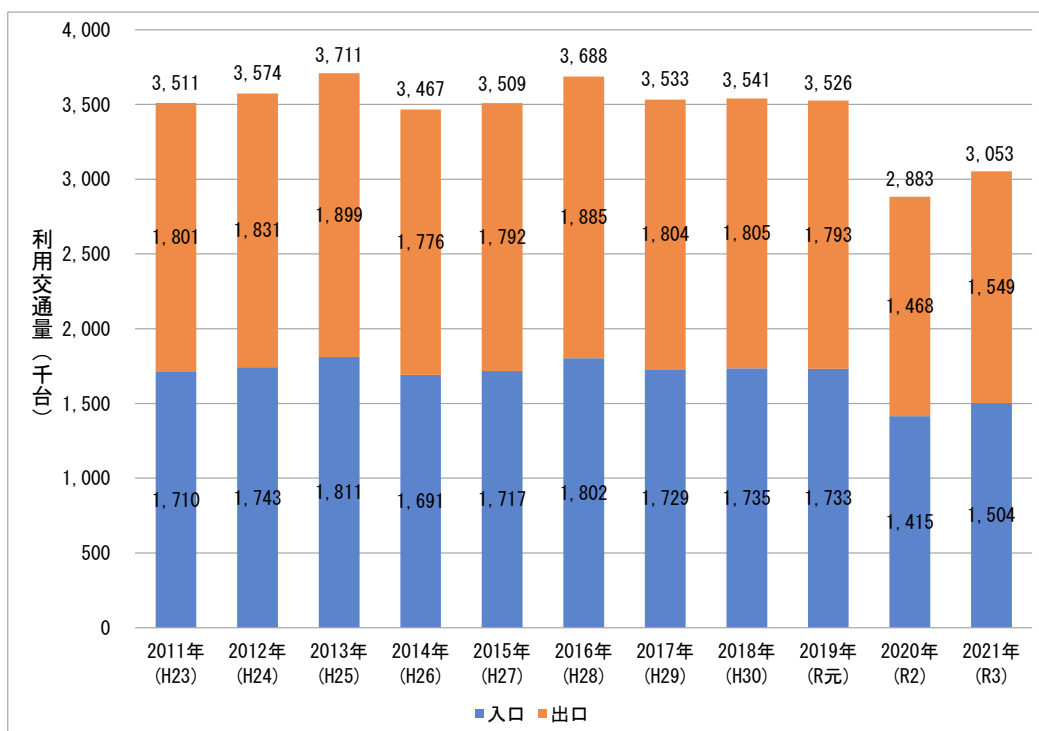


[図・混雑時平均旅行速度分布]

資料：R3 都市計画基礎調査

< 高速道路 >

本市には上信越自動車道上田菅平インターチェンジがあり、利用交通量は 350 万台前後で推移していますが、2021（令和 3）年では、約 300 万台に減少しています。

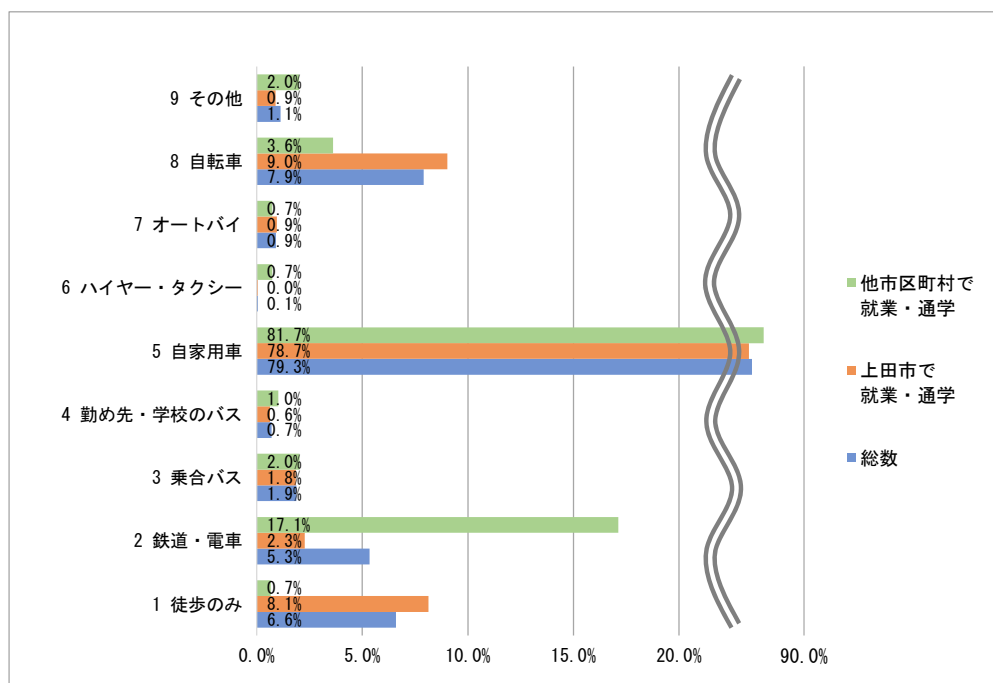


[図・上田菅平インター利用状況]

資料：東日本高速道路株式会社関東支社佐久管理事務所

(3) 就業・通学者の移動手段

通勤や通学時の利用交通手段では、自家用車の利用が 80%前後で最も多く、鉄道やバスなど公共交通の利用は、「他市区町村で就業・通学」を除き 10%以下となっています。

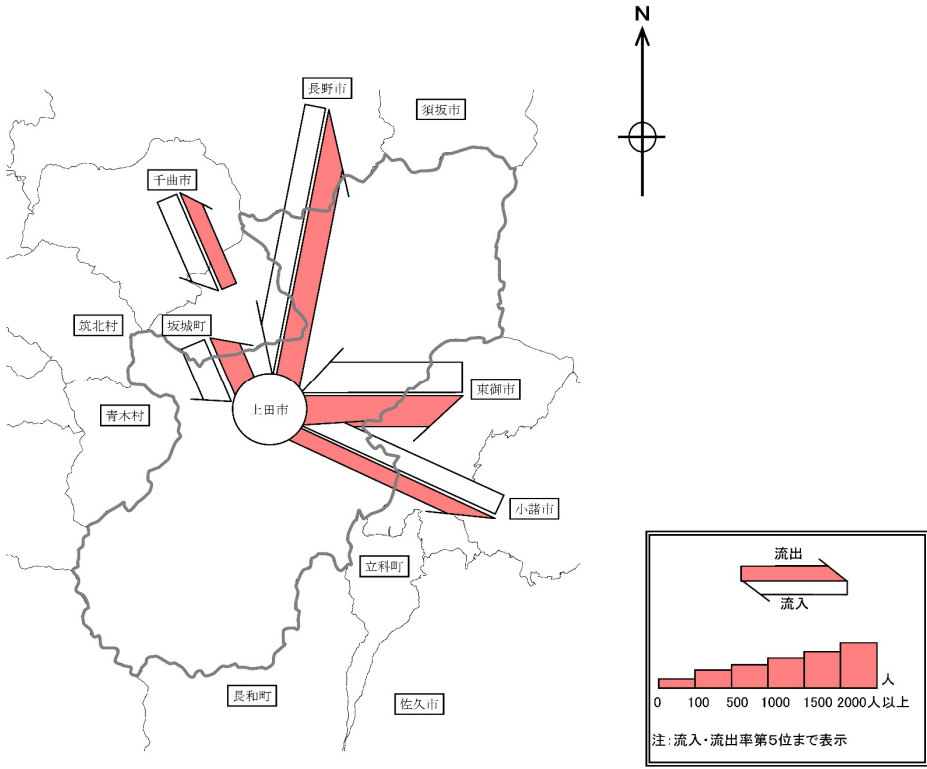


[図・就業・通学者の移動手段]

資料：R2 国勢調査

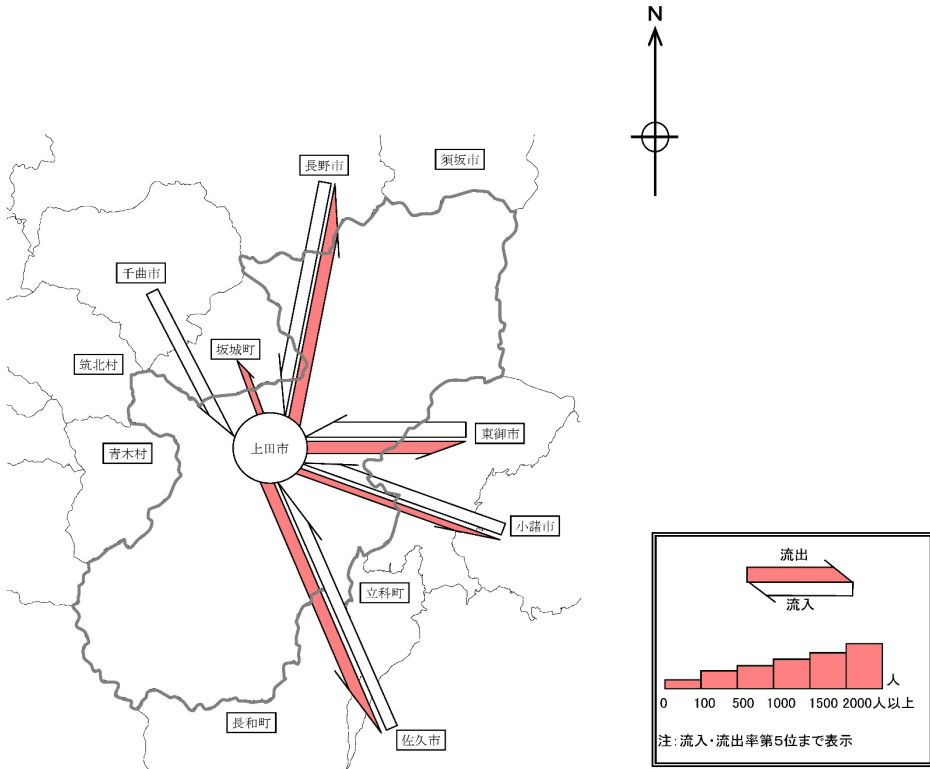
2-7 通勤・通学

本市は東信地域の中核都市であり、通勤・通学流動の状況は、流入が多くなっています。就業者の流出先は東御市が多く、また、通学者の流出先は長野市が最も多くなっています。その他、隣接する坂城町との往来も多い状況です。



[図・通勤流動]

資料：R3 都市計画基礎調査



[図・通学流動]

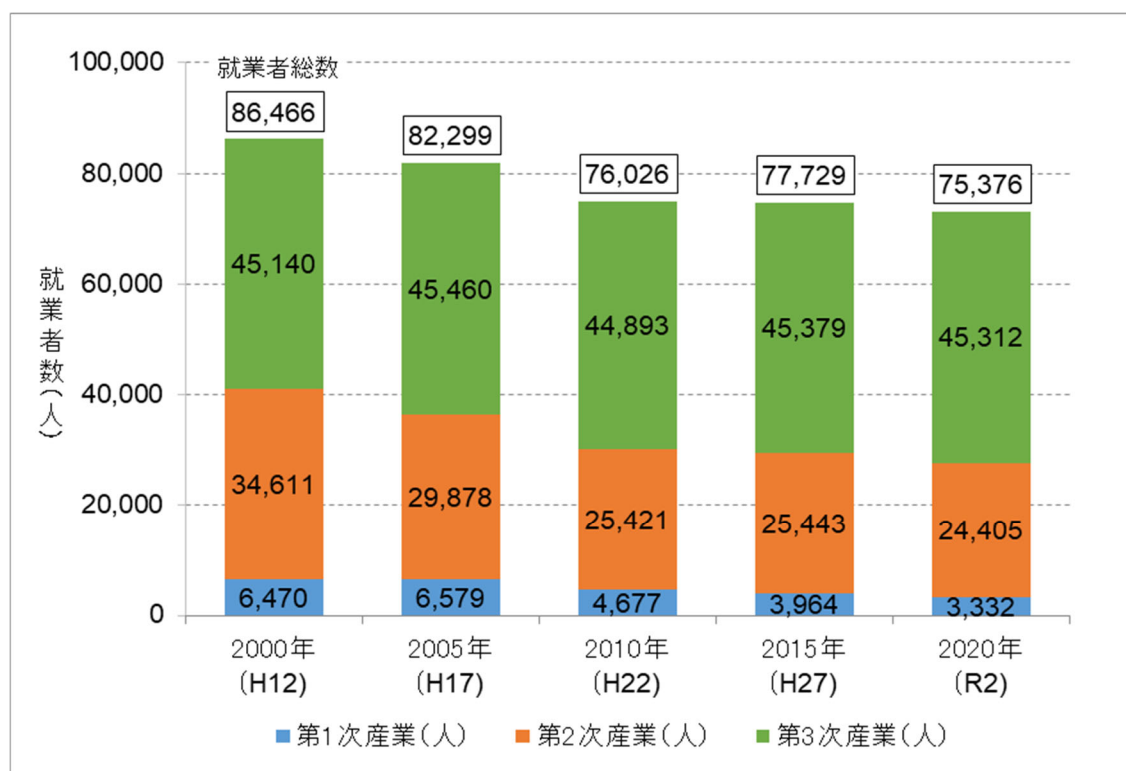
資料：R3 都市計畫基礎調查

3. 産業関連

3-1 産業別就業人口

2000（平成12）年から2020（令和2）年までの産業分類別人口の推移を見ると、経年的におおむね減少傾向にあります。2020（令和2）年の総数は75,376人となっており、2000（平成12）年に比べると約13%減少しています。

産業分類別に見ると、第3次産業就業者数が最も多く、2020（令和2）年では全体の約60%を占めています。同様に第2次産業就業者は約32%、第1次産業就業者数は約4%となっています。（※分類不能を含んだ総数に対する割合）



※就業者数総数は分類不能含む

区分	2000 (H12) 年	2005 (H17) 年	2010 (H22) 年	2015 (H27) 年	2020 (R2) 年
第1次産業（人）	6,470	6,579	4,677	3,964	3,332
第2次産業（人）	34,611	29,878	25,421	25,443	24,405
第3次産業（人）	45,140	45,460	44,893	45,379	45,312

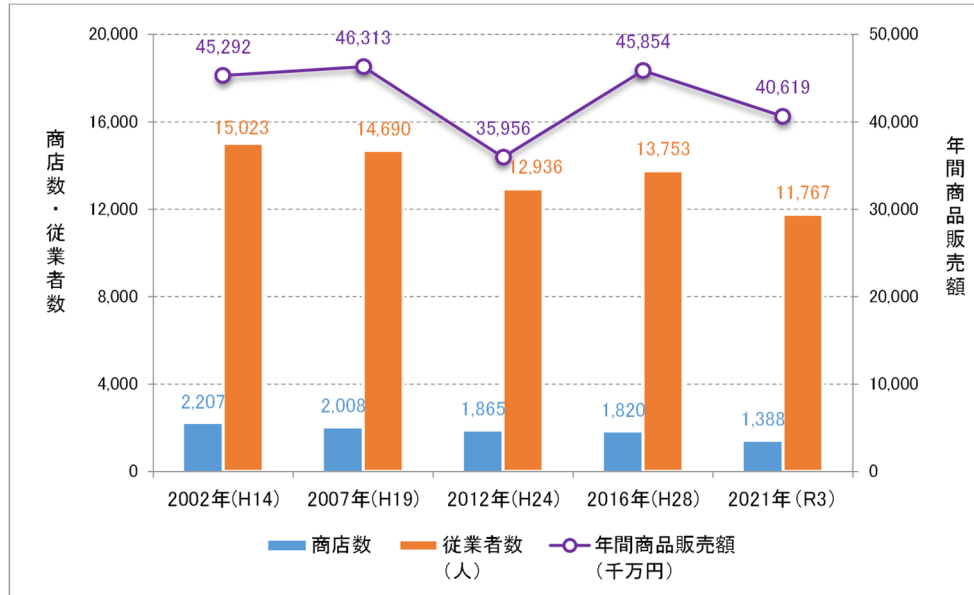
※分類不能除く

[図表・産業別就業者数]

資料：上田市の統計

3-2 商業

2002（平成14）年から2021（令和3）年までの商店数・従業者数及び年間商品販売額の推移をみると、商店数、従業者数の減少傾向が続く中、年間商品販売額（実数）は増減がありながらも概ね横ばいに推移しています。

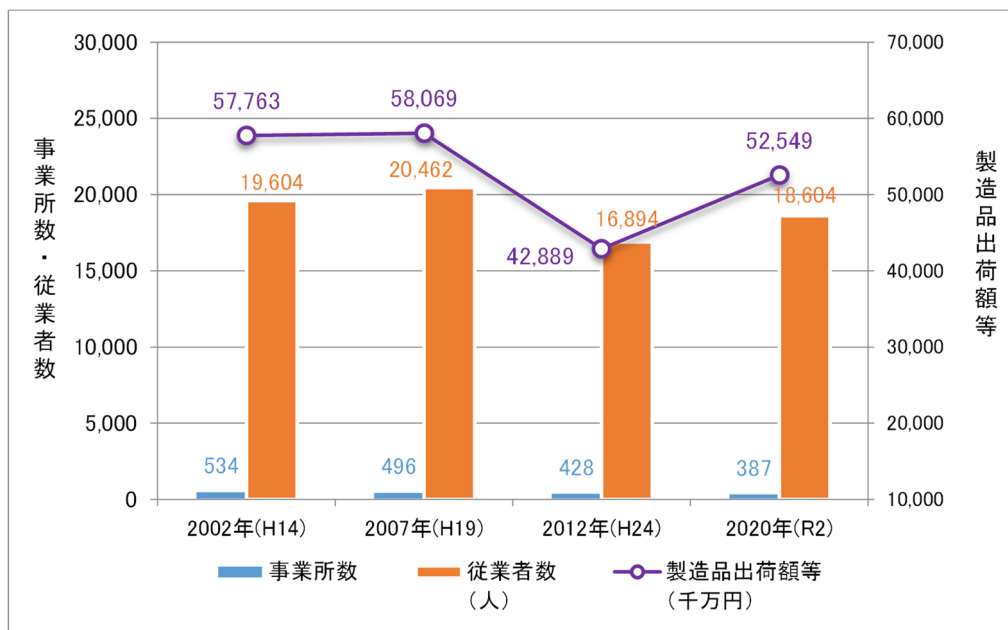


[図・産業別就業者数]

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査

3-3 工業

2002（平成14）年から2020（令和2）年までの事業所数・従業者数及び製造品出荷額などの推移をみると、事業所数の減少傾向が続く中、従業者数、製造品出荷額（実数）は増減がありながらも概ね横ばいに推移しています。

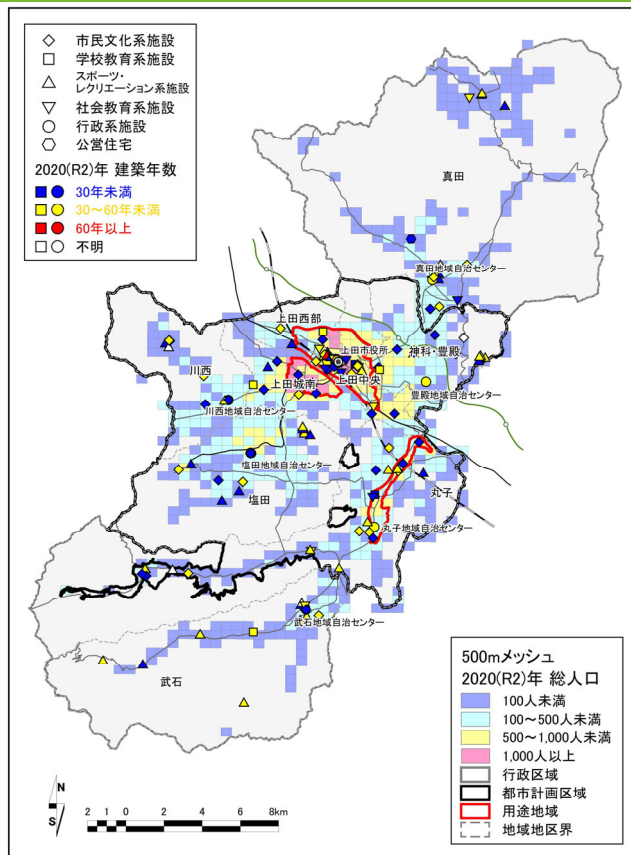


[図・産業別就業者数]

資料：工業統計調査

4. 各種施設等

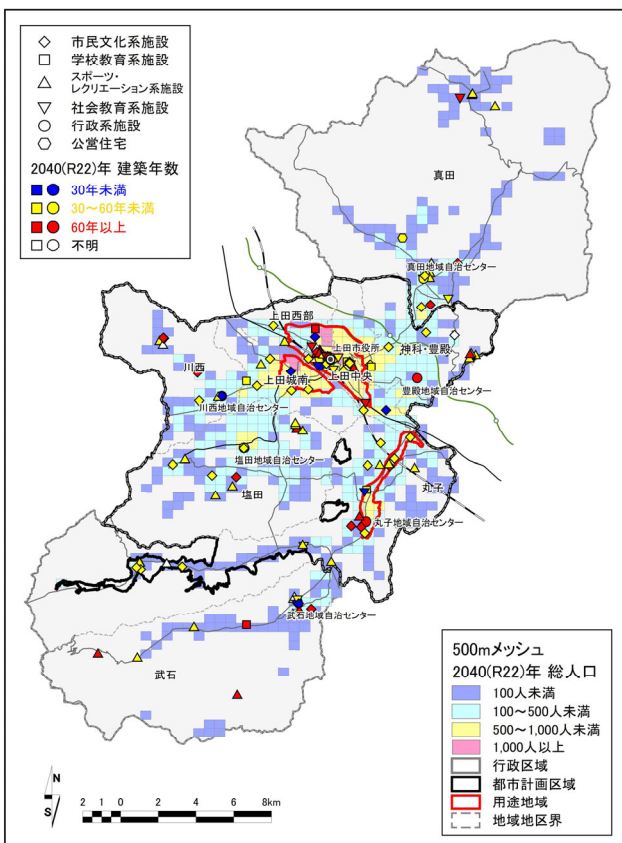
4-1 公共施設



[図・公共施設×2020 (R2) 年 人口メッシュ]

2020 (R2) 年 人口メッシュ

- ・豊殿地域自治センター、上田市立図書館、上田市立博物館、勤労者福祉センターなどの行政施設において、建替えや耐震改修等が行われておらず、建築年数が30年以上経過しており、計画的な維持管理が必要と考えられます。

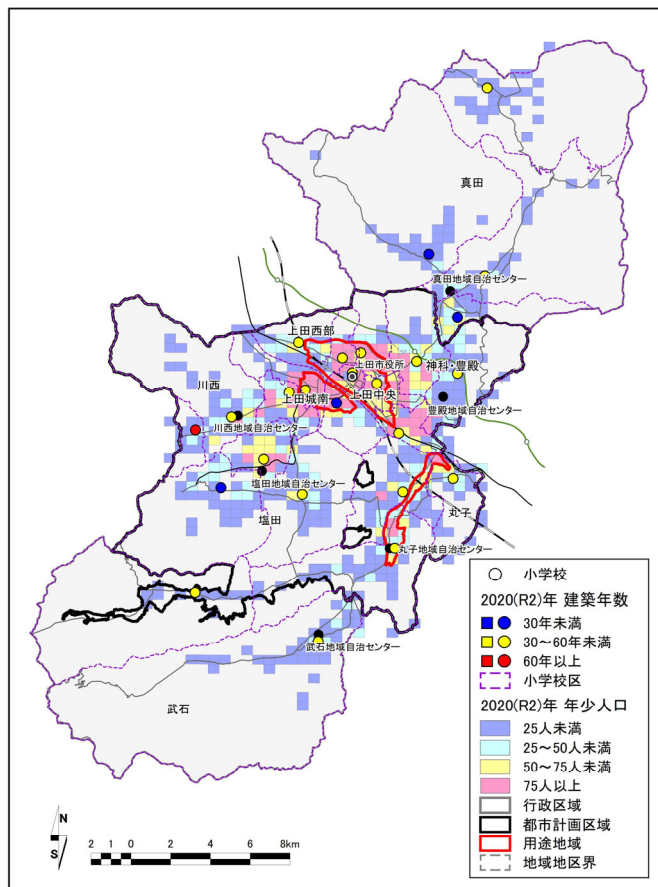


[図・公共施設×2040 (R22) 年 人口メッシュ]

2040 (R22) 年 人口メッシュ

- ・約9割の施設で、建築年数が30年以上経過し、そのうち約3割の施設で、建築年数が60年以上経過することが想定されます。
- ・避難場所として機能する公民館、コミュニティセンター、防災センターなど、施設の維持・確保に向けた検討が必要と考えられます。

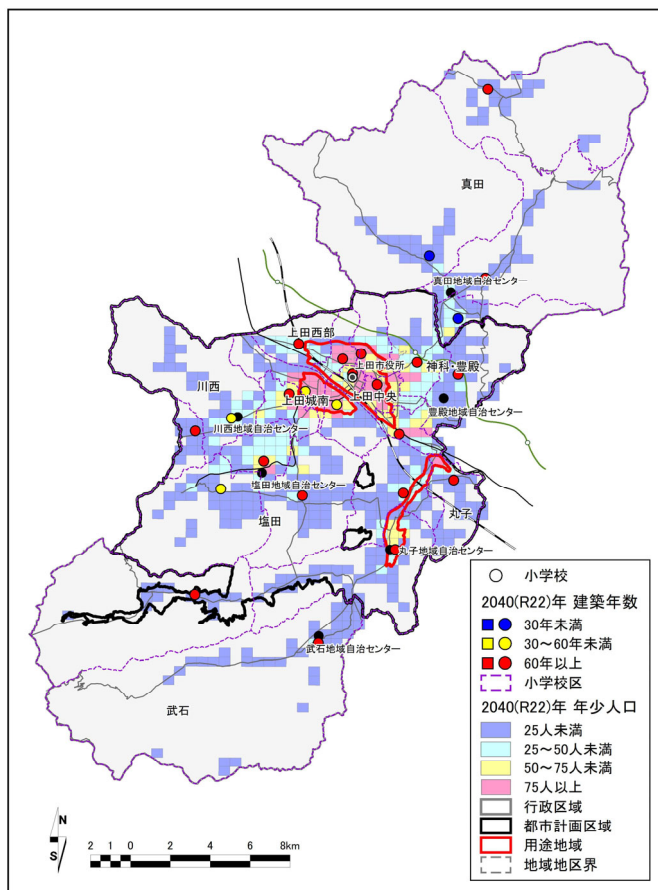
4-2 教育施設（小学校）



〔図・小学校×2020（R2）年 人口メッシュ〕

2020（R2）年 人口メッシュ

- ・市内の各地に小学校が広く分布しています。
- ・8割を超える施設で、建築年数が30年以上経過しており、計画的な維持管理が必要と考えられます。
- ・また、建築年数が60年を超える施設が1施設（浦里小学校）あります。



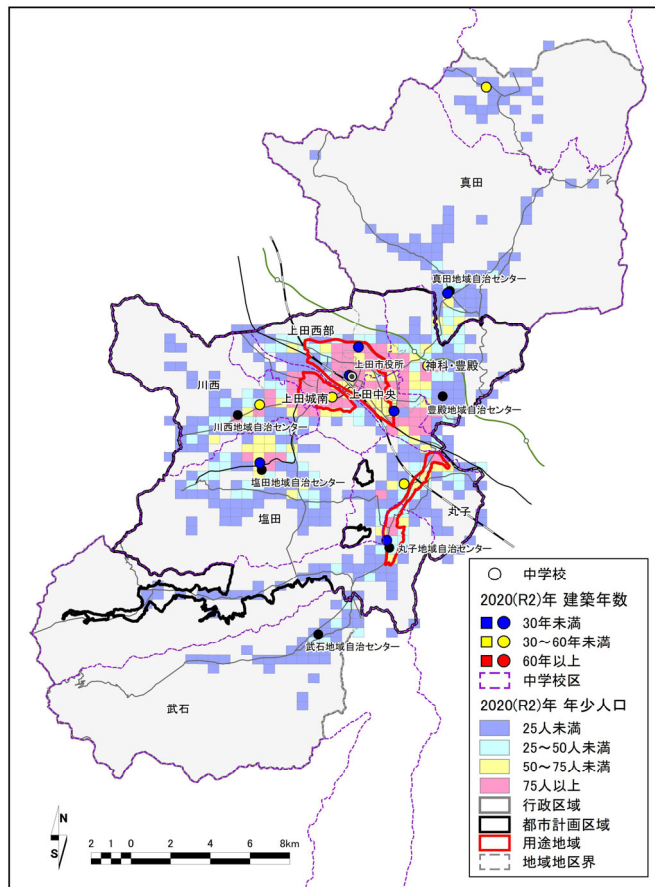
〔図・小学校×2040（R22）年 人口メッシュ〕

2040（R22）年 人口メッシュ

- ・約7割の施設で、建築年数が60年以上経過することが想定されます。
- ・市内全域で年少人口密度の著しい低下が予想されており、施設の維持・確保に向けた検討が必要と考えられます。

資料：R2 上田市学校施設長寿命化計画

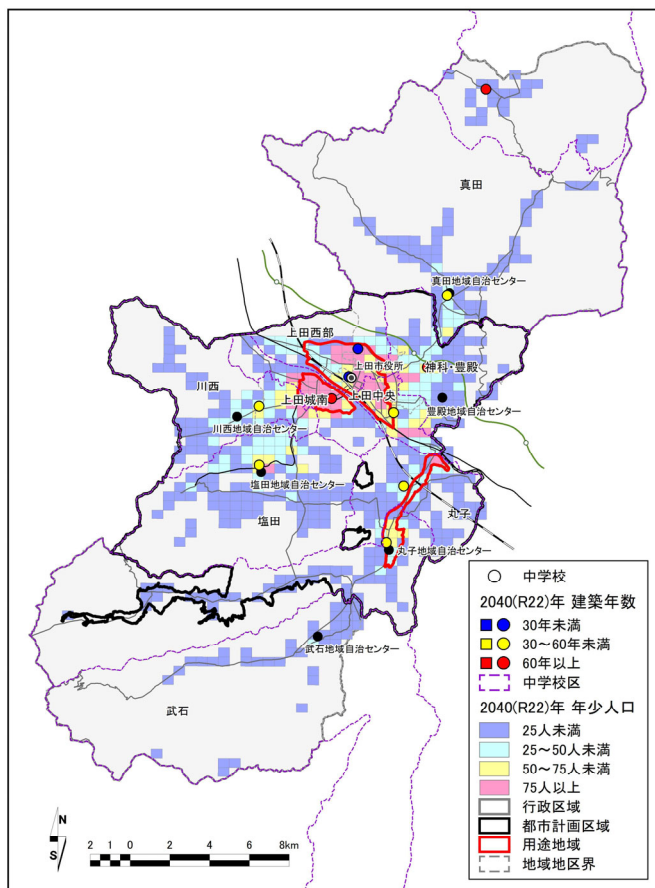
4-3 教育施設（中学校）



〔図・中学校×2020（R2）年 人口メッシュ〕

2020（R2）年 人口メッシュ

- ・約4割の施設で、建築年数が30年以上経過しており、計画的な維持管理が必要と考えられます。



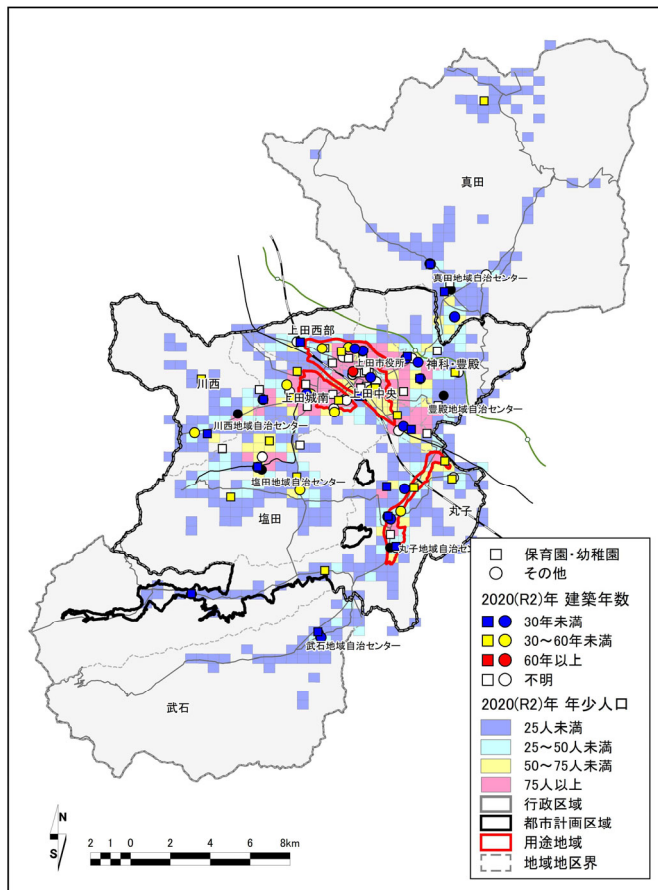
〔図・中学校×2040（R22）年 人口メッシュ〕

2040（R22）年 人口メッシュ

- ・約8割の施設で、建築年数が30年以上経過し、そのうち約3割の施設で、建築年数が60年以上経過することが想定されます。
- ・市内全域で年少人口密度の著しい低下が予想されており、施設の維持・確保に向けた検討が必要と考えられます。

資料：R2 上田市学校施設長寿命化計画

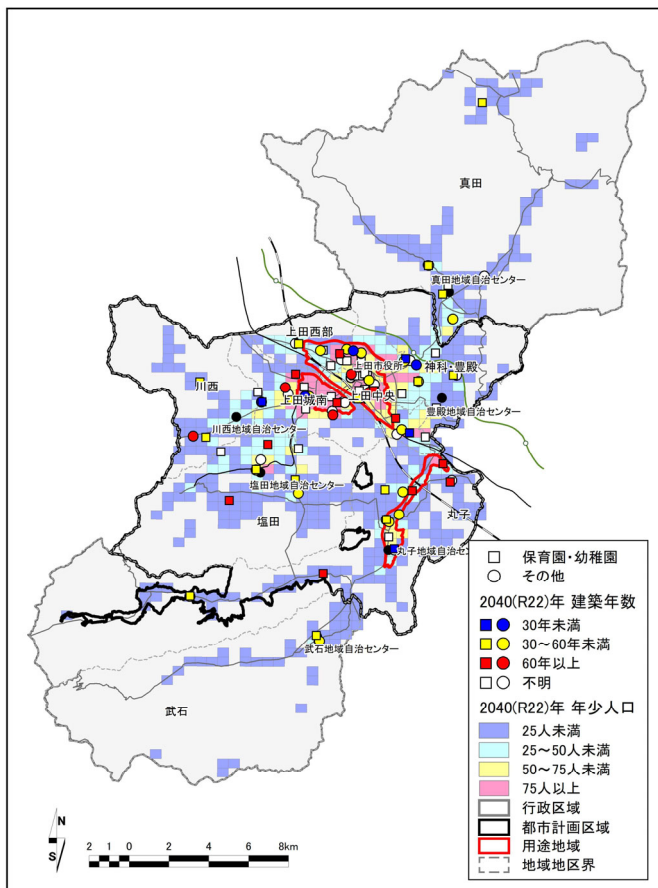
4-4 子育て支援施設



[図・子育て支援施設×2020 (R2) 年 人口メッシュ]

2020 (R2) 年 人口メッシュ

- ・市内の各地に子育て支援施設が広く分布しています。
- ・約3割の施設で、建築年数が30年以上経過しており、計画的な維持管理が必要と考えられます。
- ・また、建築年数が60年を超える施設が1施設（清明児童クラブ）あります。



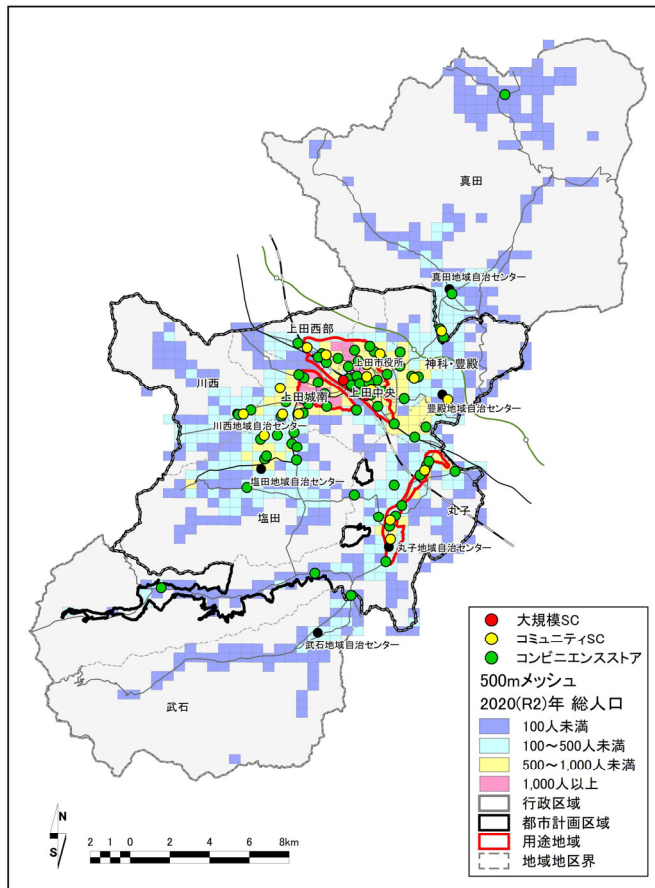
[図・子育て支援施設×2040 (R22) 年 人口メッシュ]

2040 (R22) 年 人口メッシュ

- ・約2割の施設で、建築年数が60年以上経過することが想定されます。
- ・市内全域で年少人口密度の著しい低下が予想されており、施設の維持・確保に向けた検討が必要と考えられます。

資料：上田市

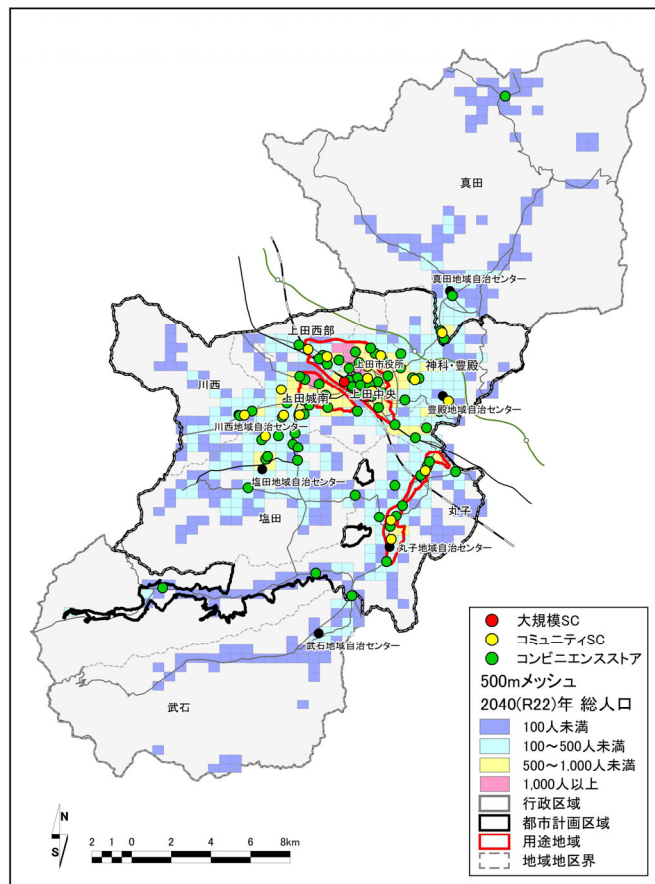
4-5 商業施設



〔図・商業施設×2020（R2）年 人口メッシュ〕

2020（R2）年 人口メッシュ

- ・大規模SC（2施設）は、上田中央地域（上田用途地域内）に分布しています。
- ・コミュニティSCは、用途地域内に集積しているほか、塩田、川西、神科・豊殿地域にも分布しています。
- ・コンビニエンスストアは、市内の幹線道路沿線などに広く分布しています。



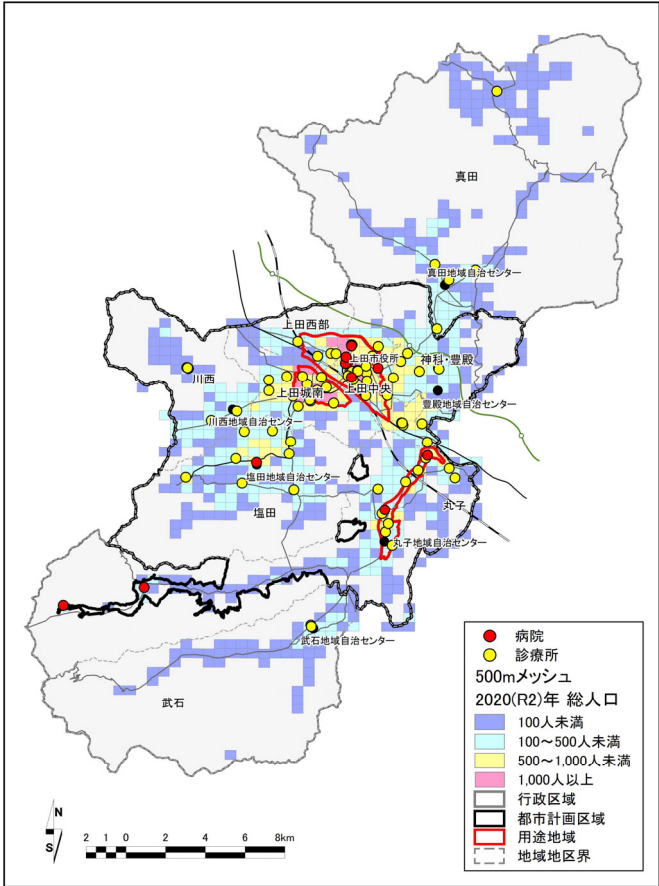
〔図・商業施設×2040（R22）年 人口メッシュ〕

2040（R22）年 人口メッシュ

- ・上田用途地域周辺では、一定の人口密度が維持されることが想定されていますが、丸子用途地域周辺では、人口密度の低下が予想されており、郊外や中山間地域も含め、施設の維持・確保に向けた検討が必要と考えられます。

資料：上田市

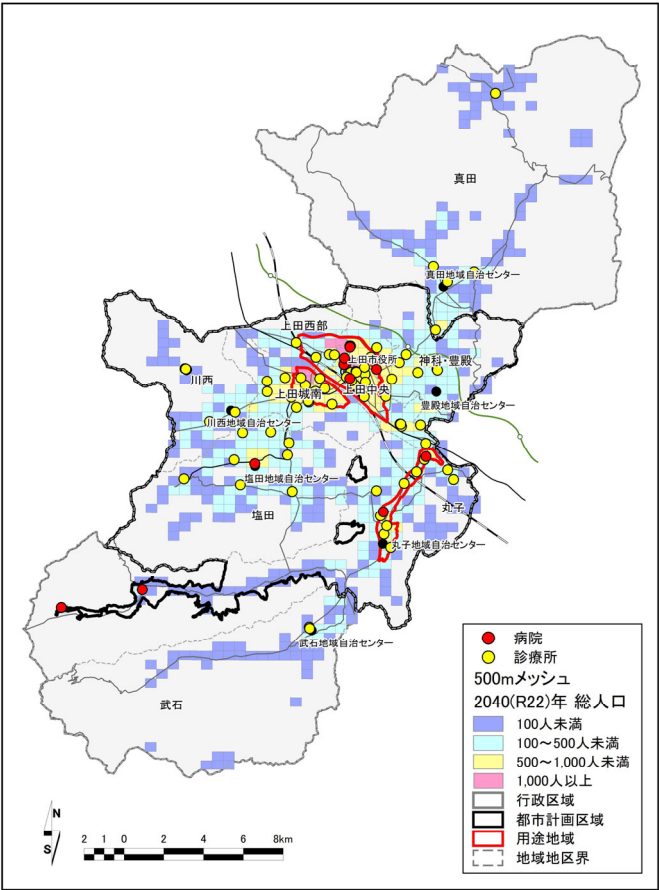
4-6 医療施設



[図・医療施設×2020（R2）年 人口メッシュ]

2020 (R2) 年 人口メッシュ

- ・病院は概ね上田用途地域、丸子用途地域などの市街地に立地し、診療所は市内の各地に広く分布しています。
- ・武石地域や真田地域（菅平高原周辺）では、診療所が1施設のみとなっています。

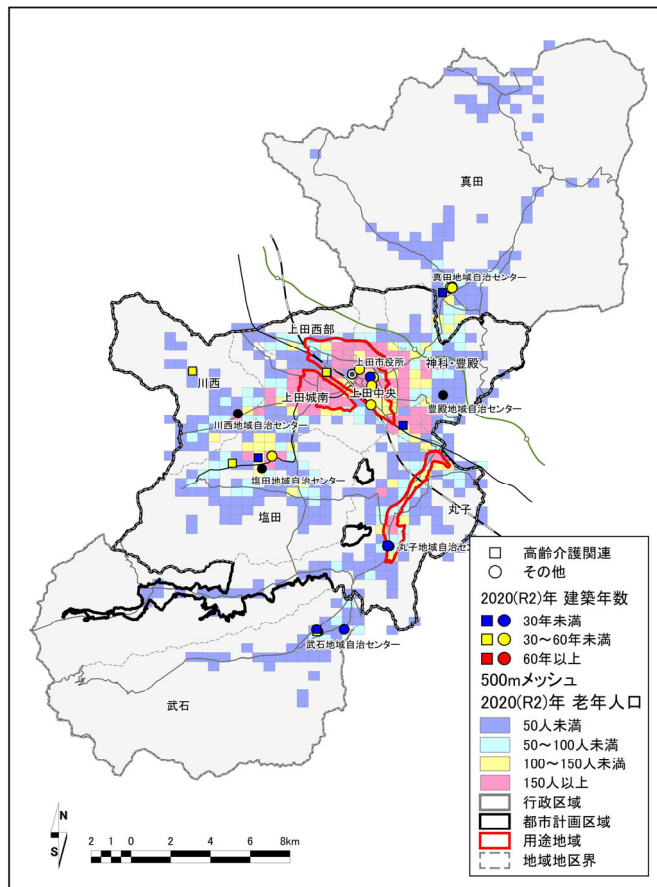


[図・医療施設×2040（R22）年 人口メッシュ]

2040 (R22) 年 人口メッシュ

- ・上田用途地域周辺では、一定の人口密度が維持されることが想定されていますが、丸子用途地域周辺では、人口密度の低下が予想されており、郊外や中山間地域も含め、施設の維持・確保に向けた検討が必要と考えられます。

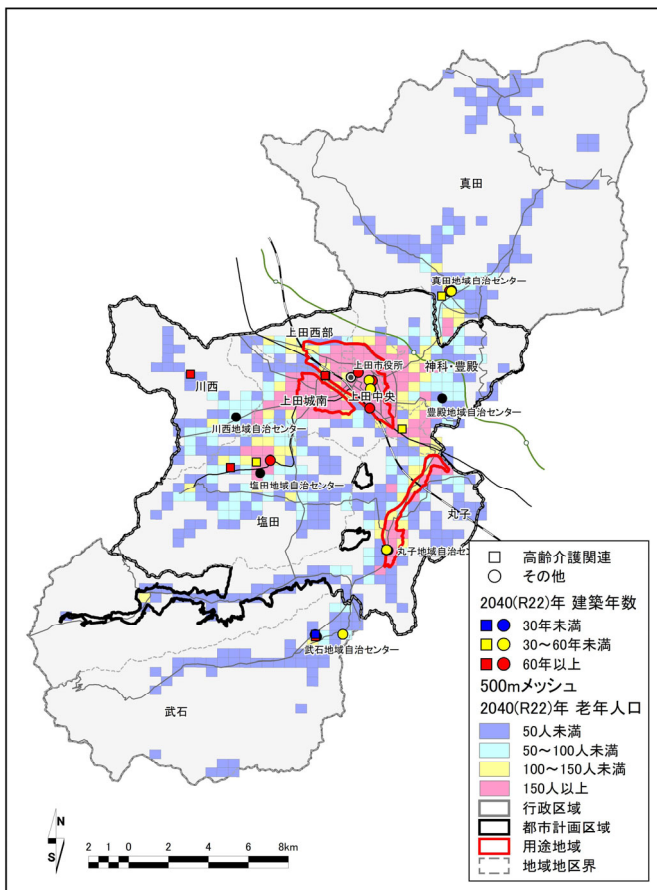
4-7 福祉施設



[図・福祉施設×2020 (R2) 年 人口メッシュ]

2020 (R2) 年 人口メッシュ

- ・高齡介護関連施設が11施設、その他施設が14施設立地しており、神科・豊殿地域を除いて、全ての地域に分布しています。



[図・福祉施設×2040 (R22) 年 人口メッシュ]

2040 (R22) 年 人口メッシュ

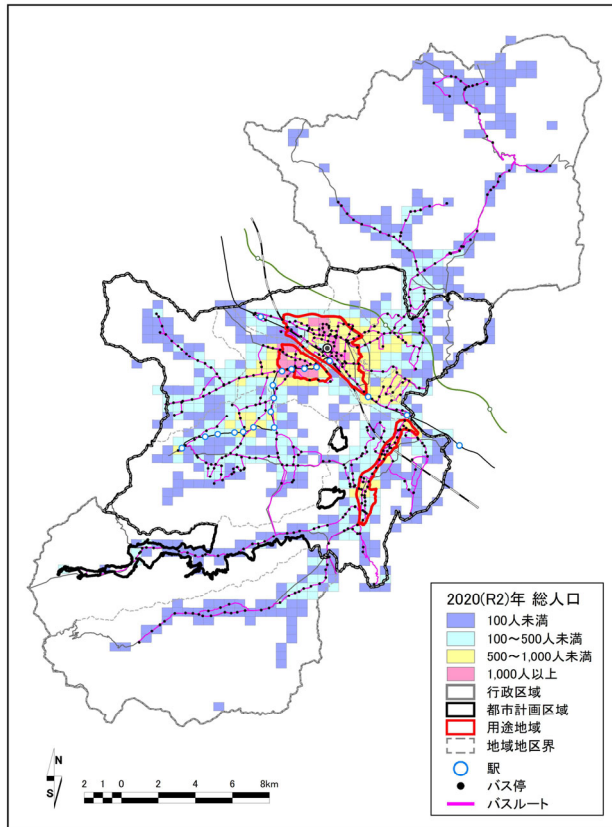
- ・ほぼ全ての施設で、建築年数が30年以上経過し、そのうち約半数の施設で、建築年数が60年以上経過することが想定されます。
- ・特に、上田用途地域周辺で、老年人口密度の増加が予想されており、施設の維持・確保に向けた検討が必要と考えられます。

4-8 公共交通

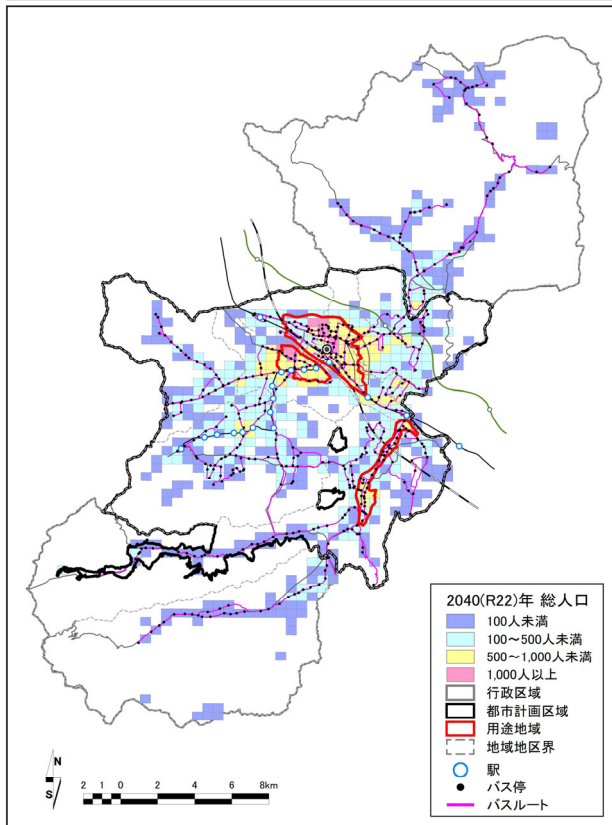
(1) 公共交通網

鉄道及びバス路線の公共交通網は、概ね市内全域をカバーしています。

今後の人口減少に伴い、現行サービスの維持が困難になることが予想されており、公共交通網の維持・見直しが課題となっています。



[図・公共交通×2020（R2）年人口メッシュ]

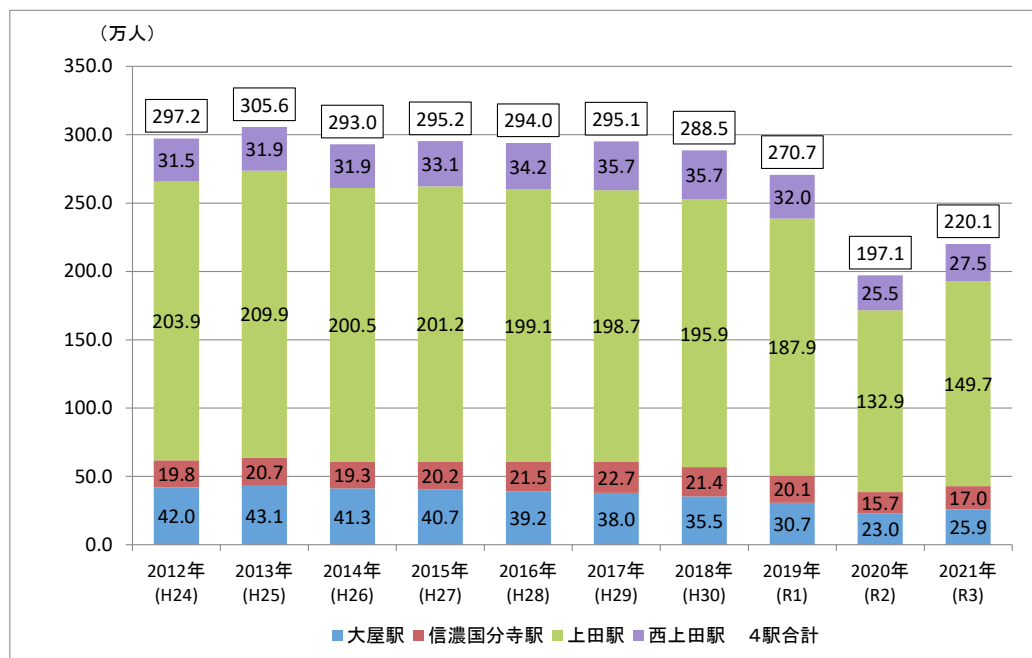


[図・公共交通×2040（R22）年人口メッシュ]

資料：人口メッシュ→2020（R2）年は国勢調査、2040（R22）年は国土数値情報、公共交通網→R3 都市計画基礎調査

(2) しなの鉄道駅利用者

2012（平成24）年から2021（令和3）年までの市内しなの鉄道各駅の利用者数の推移を見ると、2017（平成29）年までは290万人以上を維持していたものの、2018（平成30）年から290万人を下回りはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2020（令和2）年では約197万人と大きく減少し、現在も回復に至っていない状況です。



（単位：万人）

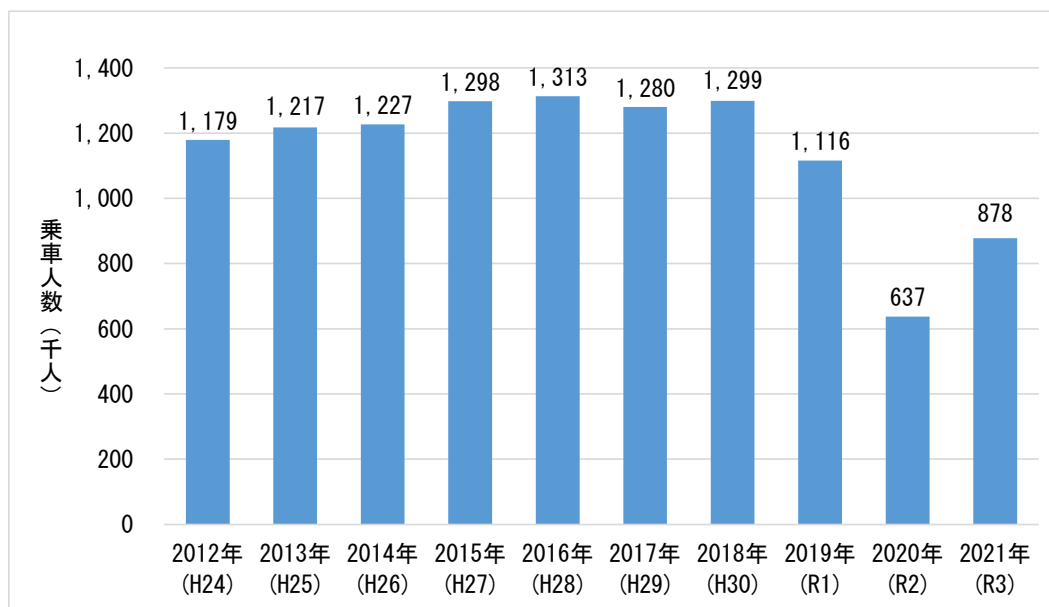
年次	大屋駅	信濃国分寺駅	上田駅	西上田駅	合計
2012 (H24) 年	42.0	19.8	203.9	31.5	297.2
2013 (H25) 年	43.1	20.7	209.9	31.9	305.6
2014 (H26) 年	41.3	19.3	200.5	31.9	293.0
2015 (H27) 年	40.7	20.2	201.2	33.1	295.2
2016 (H28) 年	39.2	21.5	199.1	34.2	294.0
2017 (H29) 年	38.0	22.7	198.7	35.7	295.1
2018 (H30) 年	35.5	21.4	195.9	35.7	288.5
2019 (R1) 年	30.7	20.1	187.9	32.0	270.7
2020 (R2) 年	23.0	15.7	132.9	25.5	197.1
2021 (R3) 年	25.9	17.0	149.7	27.5	220.1

〔図表・しなの鉄道駅利用者の推移〕

資料：しなの鉄道(株)

(3) 別所線利用者

2012（平成 24）年から 2021（令和 3）年までの別所線の年間乗車客数の推移を見ると、2018（平成 30）年までは約 120～130 万人を維持していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や千曲川橋梁の一部崩落により 2020（令和 2）年では約 64 万人と大きく減少し、現在も回復に至っていない状況です。

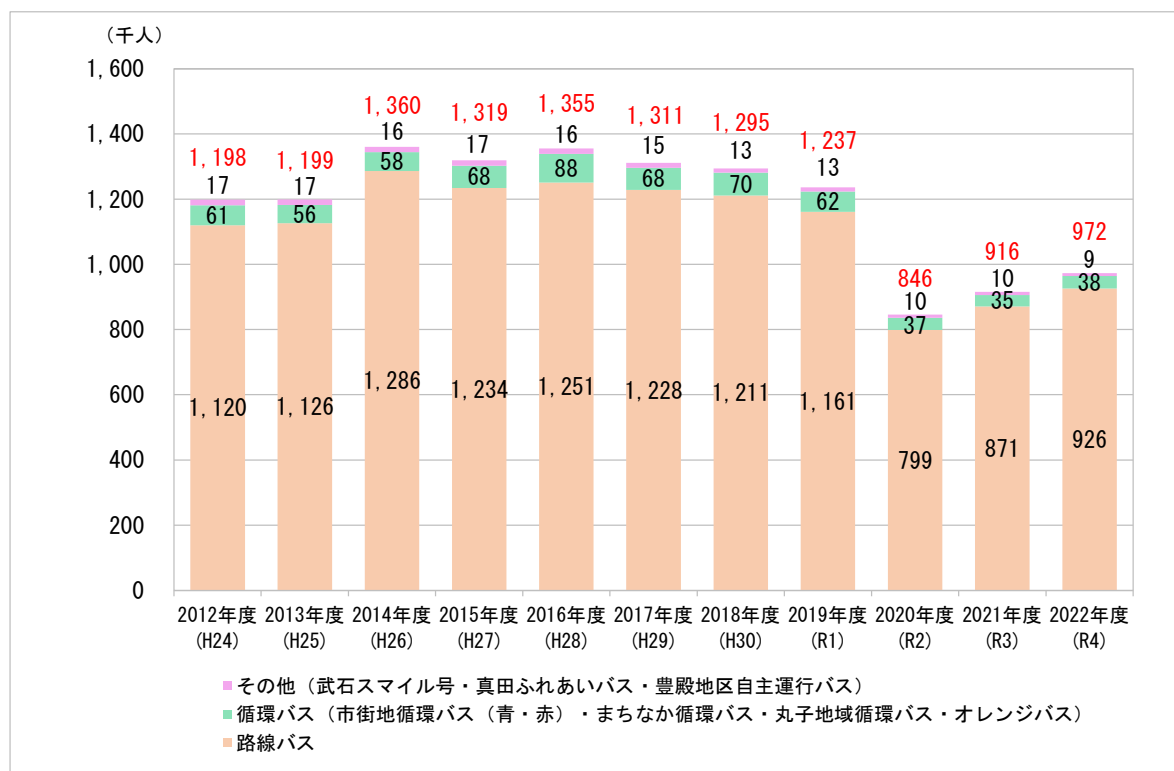


[図・別所線利用者の推移]

資料：上田電鉄株式会社

(4) 市内運行バス利用者数

2012（平成24）年度から2022（令和4）年度までの市内運行バスの利用者数の推移を見ると、2019（令和1）年度までは約120～130万人を維持していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2020（令和2）年度では約85万人、2021（令和3）年度では約92万人、2022（令和4）年度では約97万人と大きく減少し、現在も回復に至っていない状況です。



（単位：千人）

年度	路線バス	循環バス ※1	その他 ※2	合計
2012(H24)年度	1,120	61	17	1,198
2013(H25)年度	1,126	56	17	1,199
2014(H26)年度	1,286	58	16	1,360
2015(H27)年度	1,234	68	17	1,319
2016(H28)年度	1,251	88	16	1,355
2017(H29)年度	1,228	68	15	1,311
2018(H30)年度	1,211	70	13	1,295
2019(R1)年度	1,161	62	13	1,237
2020(R2)年度	799	37	10	846
2021(R3)年度	871	35	10	916
2022(R4)年度	926	38	9	972

※1：市街地循環バス（青・赤）・まちなか循環バス・丸子地域循環バス・オレンジバス

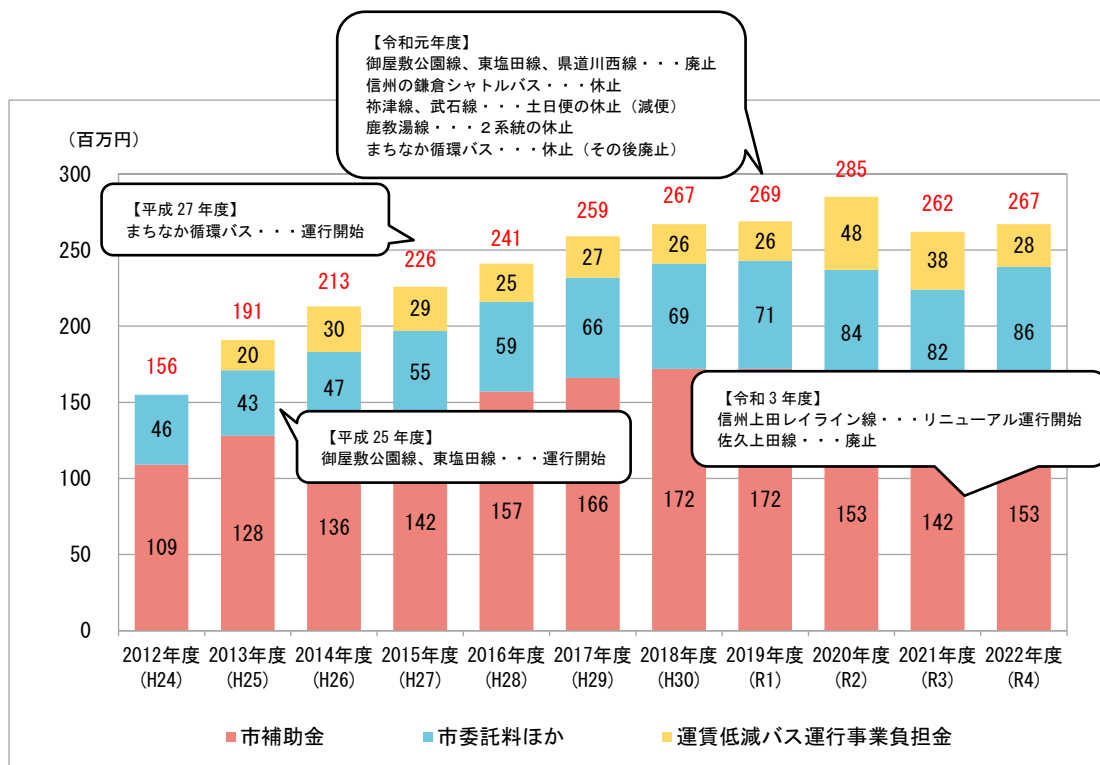
※2：武石スマイル号・真田ふれあいバス・豊殿地区自主運行バス

〔図表・市内運行バス利用者の推移〕

資料：上田市

(5) 市内補助対象運行バス※1に対する市補助金額

2012（平成24）年度から2022（令和4）年度までの市内補助対象運行バスに対する市補助金額の推移を見ると、補助金額は年々増加傾向にある中、コロナ禍による運送収益の悪化や燃料費高騰に伴う運行経費の増大に対応した支援策により、行政負担が増加しています。



（単位：百万円）

年度	市補助金 ※2	市委託料ほか ※3	運賃低減バス 運行事業 負担金	合計
2012 (H24) 年度	109	46		156
2013 (H25) 年度	128	43	20	191
2014 (H26) 年度	136	47	30	213
2015 (H27) 年度	142	55	29	226
2016 (H28) 年度	157	59	25	241
2017 (H29) 年度	166	66	27	259
2018 (H30) 年度	172	69	26	267
2019 (R1) 年度	172	71	26	269
2020 (R2) 年度	153	84	48	285
2021 (R3) 年度	142	82	38	262
2022 (R4) 年度	153	86	28	267

※1：路線バス・市街地循環バス（青・赤）・まちなか循環バス・オレンジバス・武石スマイル号・真田ふれあいバス・豊殿地区自主運行バス

※2：バス事業者が運行する路線バスに係る補助金

※3：市が運行するバス、デマンド交通及びその他部局などが運行するバスに係る委託料（一部補助金も含む）

[図表・市内補助対象運行バスに対する市補助金額の推移]

資料：上田市

5. 災害関連

5-1 災害の状況

(1) 大雨・台風被害

千曲川を擁する本市はそこに流れ込む多くの支流の存在や、河川沿いの低地部に位置する市街地も多くあることから、たびたび大雨や台風被害に見舞われています。

近年では全国的に大雨や台風による浸水被害が激甚化しており、本市においても令和元年東日本台風による甚大な被害は記憶に新しいところです。

[表・2011（平成23）年以降における大雨・台風被害の状況]

発 生 年 月 日	床上 浸水 (戸)	床下 浸水 (戸)	備 考
平成23年5月29日(台風2号・大雨)	1	3	床下浸水:上田地域(小泉、十人、神畑) 床上浸水:上田地域(上室賀) 建物被害2件::上田地域(古安曾、上室賀)／道路・河川被害46件／林地・林地被害27件／農地・農業用施設被害67件
平成23年7月12日(大雨)		5	床下浸水:丸子地域(上丸子・中丸子・塩川) 道路河川被害等14件:丸子地域(坂井、塩川、長瀬)
平成23年8月25日(大雨)			倒木2件:丸子地域(塩川、藤原田)
平成23年9月12日(大雨)			畑法面崩落1件:上田地域(小牧)
平成23年9月20日～21日 (台風15号)			農作物被害(花きグラジオラス)被害面積0.2ha:武石地区／農地・農業用施設被害43件: 上田地域17件、丸子地域20件、武石地域6件／林地・林地被害13件:上田地域4件、丸 子地域1件、真田地域1件、武石地域3件／道路・河川等被害1件:丸子地域／倒木2件: 丸子地域
平成24年6月19日(台風4号)			倒木6件:丸子地域(市道丸子小牧線のビュータウン茂沢付近、市道深山5号線焼却灰埋 立場横、市道須川3号線別荘地管理組合近く)／停電140戸:上田地域(別所温泉80 戸)、真田地域(菅平60戸)
平成24年7月7日(大雨)			道水路等被害7件:真田地域(菅平)
平成24年7月20日(大雨)			農作物被害7件:真田地域(長、傍陽)、上田地域(殿城、上室賀、手塚)
平成24年7月28日(大雨)		2	床下浸水:上田地域(別所温泉)、真田地域(真田町傍陽) 林地被害1件・道水路等被害5件:上田地域(別所温泉、前山、手塚)、真田地域(傍陽)、 武石地域(西武)
平成24年7月29日(大雨)	3	12	床上浸水:上田地域(住吉、中央2、材木町、中央6、国分)
平成24年8月17日(大雨)	5	7	床上浸水:上田地域(手塚、住吉) 床下浸水:上田地域(天神、上田原、十人、別所温泉、手塚公会堂、手塚自治会金井組 集会場) 建物被害4件:上田地域(山田、神畑、新町)／林地被害24件:上田地域(塩田地区外)／ 道水路被害10件:上田地域、丸子地域／農地・農業用施設被害56件:上田地域(塩田地 区)／果樹被害2件:上田地域(塩田地区)(2.96ha)／公共施設等被害5件:上田地域(川 西地区、城下地区外)
平成24年9月30日(台風17号)			倒木2件:上田地域・真田地域／農地・農業用施設等被害7件:丸子地域・武石地域
平成25年7月28日(大雨)		1	床下浸水:上田地域(別所温泉)
平成25年8月23日(大雨)			公共施設被害(保育園)1件:上田地域(国分)
平成25年9月16日(台風18号)	6	12	床上浸水:上田地域(福田、富士山) 床下浸水:上田地域(小泉、仁古田、山田、前山)、丸子地域(下丸子) 建物損壊1件:上田地域(福田)／公共土木施設104件:市内全域／林業施設51件:市内 全域／農地農業用施設154件:市内全域／体育施設4件:上田地域(塩田)他／社会教育 施設1件:丸子地域／保育施設2件:丸子地域(西内保育園)他
平成25年10月15日(台風26号)			建物損壊63件:上田地域(上田原、諏訪形、古里、下塩尻、常磐城、秋和、上塩尻、緑が 丘北、中央1、常田、大手1、常磐城6、御所)／公共土木施設1件:市道(丸子地域)／農地 農業用施設3件:上田地域、武石地域／公共施設(学校等)9件:市内全域／市営住宅2 件:上田地域(塩尻)
平成26年7月5日(大雨)			農業用施設被害1件:上田地域(本郷)
平成26年7月9日 (大雨・降ひょう・落雷)	1	6	床上浸水:丸子地域(上丸子) 床下浸水:丸子地域(上丸子) 公共土木施設3件:丸子地域(中丸子・腰越)／倒木2件:丸子地域(生田・塩川)／農作物 被害(降ひょう):上田地域(古里・芳田)／住家被害(家電・落雷)1件:上田地域(上野)
平成26年7月19日(大雨)			農地農業用施設1件:上田地域(殿城)
平成26年8月1日(大雨・降ひょう)	2	1	床下浸水:上田地域(小泉) 床上浸水(非住家):上田地域(吉田、岡) 農作物被害(降ひょう):上田地域(小泉・岡)
平成26年10月6日(台風18号)			倒木1件:丸子地域(腰越)

発 生 年 月 日	床上 浸水 (戸)	床下 浸水 (戸)	備 考
平成27年6月20日(大雨)		5	床下浸水:上田地域(天神、国分、御所、保野) 公共土木被害(市道)9件:上田地域(中之条外)、丸子地域(塩川)／公共土木被害(林道)11件:上田地域(野倉外)、丸子地域(生田外)／農業用施設被害(農地、用水路)21件:上田地域(富士山外)、丸子地域(塩川外)／公共施設1件:上田地域(お城口第二駐車場)
平成27年6月21日(大雨)		1	床下浸水:上田地域(保野) 倒木2件:上田地域(芳田、常入1)
平成27年6月23日(大雨・降ひょう)	2	7	床上浸水:上田地域(大屋)、丸子地域(塩川) 床下浸水:上田地域(大屋、岩下、国分)、丸子地域(長瀬)、武石地域(上武石) 公共土木被害(市道、河川)5件:丸子地域(依田、腰越)／農業用施設被害(農地、用水路)6件:丸子地域(依田、腰越、長瀬)／農作物被害(降ひょう):丸子地域(依田、丸子)
平成27年7月29日(大雨)	1	2	床上浸水:上田地域(神畑) 床下浸水:上田地域(上田原、保野) 農地被害9件:上田地域(山田、五加、小島、保野、仁古田)
平成27年8月2日(大雨・降ひょう)			住家被害(降ひょう)1件:丸子地域(上丸子)／農作物被害(降ひょう):武石地域(上本入)／倒木1件:丸子地域(練合)
平成27年8月3日(大雨)		3	床下浸水:上田地域(下塩尻) 住家被害(降ひょう)3件:上田地域(下塩尻、上塩尻)
平成27年8月5日(大雨)			農業用施設被害1件:武石地域(武石鳥屋)／倒木1件:武石地域(下武石)／農作物被害(強風):武石地域
平成27年8月29日(大雨)			倒木2件:上田地域(富士山、古安曾)
平成27年8月30日(大雨)			農業用施設被害1件:上田地域(浦野)
平成27年9月9日(台風18号)			土砂崩落(民地)1件:上田地域(芳田)／倒木3件:上田・丸子地域
平成28年7月14日(大雨)	2		建物被害1件:上田地域(吉田)、倒木2件:上田地域(下之郷、上田原)
平成28年8月1日(大雨)			公共土木施設被害(市道、河川)2件:丸子地域(藤原田、塩川)
平成28年8月18日(大雨)	5	28	床上浸水:丸子地域(東内、下丸子、生田、御嶽堂) 床下浸水:上田地域(富士山外)、丸子地域(長瀬外)、武石地域(武石沖) 公共土木被害(市道)143件:上田地域(下之郷外)、丸子地域(御嶽堂外)、真田地域(菅平外)、武石地域(鳥屋外)／農業用施設被害(農地、用水路)147件:上田地域(富士山外)、丸子地域(生田、東内外)、武石地域(沖外)／林道施設被害21件:丸子地域(生田、東内、上丸子)／水道施設被害1件:上田地域(材木町)／公共施設1件:丸子地域(東内)
平成28年9月18日～ 9月20日(台風16号)		1	床下浸水:上田地域(小泉) 公共土木被害(市道)15件:上田地域(小牧、仁古田、手塚)、丸子地域(腰越、塩川、生田、東内、長瀬)、真田地域(傍陽、長)、武石地域(小沢根)／農業用施設被害(農地、用水路)22件:上田地域(上塩尻、上田原、仁古田外)、真田地域(傍陽)／林道施設被害16件:上田地域(野倉、殿城、小牧、半過、小泉、浦野、上室賀、下室賀、古安曾)、真田地域(傍陽、長)、武石地域(上本入、余里)／公共施設被害3件:上田地域、丸子地域
平成28年10月5日(台風18号)			建物被害1件:丸子地域(西内)、倒木2件:上田地域(別所温泉)、武石地域(上本入)、農業用施設被害4件:武石地域(上本入)
平成29年5月31日(大雨・降ひょう)	1		床上浸水:上田地域(大屋) 公共土木被害(市道)1件:上田地域(新田)／農業用施設被害(農地、用水路)3件:上田地域(新田、蛇沢、殿城)／農作物被害(降ひょう):上田地域、真田地域
平成29年7月1日(大雨)			公共土木施設被害(市道、河川)1件:丸子地域(平井)、農業用施設被害1件:上田地域(仁古田)、倒木4件:上田地域(住吉、手塚、野倉)丸子地域(鹿教湯温泉)
平成29年7月4日～ 7月5日(台風3号)			公共土木被害(市道)2件:丸子地域(御嶽堂、長瀬)／農業用施設被害(農地、用水路)1件:上田地域(上室賀)／林道施設被害1件:上田地域(野倉)
平成29年7月22日(大雨)			農業用施設被害5件:上田地域(芳田、殿城、上室賀)
平成29年8月18日(大雨)			公共施設被害1件:真田地域(菅平)
平成29年8月21日(大雨)		1	床下浸水:上田地域(浦野、小泉) 農業用施設被害(農地、用水路)4件:上田地域(殿城、越戸、小泉)
平成29年9月17日～ 9月18日(台風18号)			倒木12件:上田地域(二の丸、上野、富士山)、丸子地域(生田、腰越、塩川、上丸子、中丸子)
平成29年10月22日～ 10月23日(台風21号)	2	4	床上浸水:上田地域(神畑)、丸子地域(腰越) 床下浸水:上田地域(小泉)、丸子地域(上丸子)、真田地域(傍陽)、武石地域(余里) 半壊1件:上田地域(諏訪形)／一部損壊79件:上田地域(上塩尻、下塩尻外)、真田地域(角間外)／公共土木被害(市道、河川)159件:上田地域(下之郷外)、丸子地域(御嶽堂外)、真田地域(菅平外)、武石地域(鳥屋外)／農業用施設被害(農地、用水路)71件:上田地域(富士山外)、丸子地域(東内、生田外)、武石地域(沖外)／林道施設被害61件:上田地域(下塩尻外)、丸子地域(東内、生田、上丸子)／公園施設被害11件:上田地域(城跡公園外)／公共交通施設被害1件:上田地域／水道施設被害1件:上田地域(材木町)／公共施設1件:丸子地域(東内)／農作物被害:上田地域、丸子地域、真田地域

発 生 年 月 日	床上 浸水 (戸)	床下 浸水 (戸)	備 考
平成29年10月29日～ 10月30日(台風16号)		1	床下浸水:丸子地域(腰越) 公共土木被害(市道)8件:上田地域(古里、小泉、神畑、野倉、神畑)、丸子地域(上丸子、生田)／農業用施設被害(農地、用水路)9件:上田地域(上室賀)、丸子地域(生田)
平成30年7月4日～ 7月8日(豪雨)			公共土木被害(市道)3件:上田地域(常磐城、富士山)、武石地域(武石鳥屋、武石小沢根、武石上本入)／農業用施設被害(農地、用水路)9件:武石地域(武石上本入、武石下本入、上武石、下武石)／公共施設被害4件:上田地域(上田)、武石地域(武石上本入)
平成30年7月9日(大雨)		8	床下浸水:上田地域(中央、上田、中央北、天神、住吉、上田原) 公共土木被害(市道)13件:上田地域(大手、中央北、常磐城、御所、上田原、神畑、福田、住吉、中野、新町、八木沢)／農業用施設被害(農地、用水路)8件:上田地域(国分、古里、蒼久保、殿城、小泉)
平成30年7月10日(大雨)			農業用施設被害(用水路)1件:上田地域(古里)
平成30年8月14日(大雨)		2	床下浸水:真田地域(本原)
平成30年9月4日(台風21号)			屋根損壊8件:上田地域(上野、古安曾)、真田地域(長、傍陽、本原、菅平高原)／公共土木被害(市道)9件:上田地域(常磐城、上野、芳田、手塚)、丸子地域(生田)、真田地域(長、菅平高原)／農業用施設被害(農道2件:真田地域(長)／公共施設被害16件:上田地域(豊殿小など)、丸子地域(マレットゴルフ場)、真田地域(菅平高原スポーツランドなど)／農作物被害:真田地域
平成30年9月29日～ 10月1日(台風24号)		1	床下浸水:丸子地域(西内) 公共土木被害(市道)1件:上田地域(神畑)／農業用施設被害(農地、用水路)21件:上田地域(築地、小泉、古安曾、富士山、浦野、秋和、古里、上野、諏訪形など)／林道施設被害14件:上田地域(殿城、古安曾、前山など)、丸子地域(生田、東内など)、武石地域(武石上本入、余里など)
令和1年7月20日(大雨)			一部損壊1件:武石地域(武石上本入)
令和1年7月24日(大雨)		2	床下浸水:上田地域(神畑)、丸子地域(東内) 公共土木被害(市道、河川)4件:丸子地域(東内、上丸子、御嶽堂)／農業用施設被害(農地、用水路)4件:武石地域(上武石、下武石)
令和1年7月27日～ 7月28日(大雨)	2	8	床上浸水:上田地域(殿城) 床下浸水:上田地域(殿城) 公共土木被害(市道、河川)40件:上田地域(殿城、芳田)、丸子地域(東内) 真田地域(本原、長)／農業用施設被害(農地、用水路)4件:上田地域(殿城、古里)、丸子地域(東内、生田)、真田地域(本原、長など)／林道施設被害3件:上田地域(殿城)／公園施設被害11件:上田地域(城跡公園外)／水道施設被害1件:上田地域(殿城)
令和1年7月29日(大雨)		2	床上浸水:真田地域(本原、長)
令和1年8月7日(大雨)		4	床上浸水:上田地域(吉田、天神、常田、岩下) 全壊4件:上田地域(秋和、小島、本郷、下之郷)／一部損壊(屋根等)25件:上田地域(本郷、中央北、五加、小島など)／公共土木被害(市道、河川)27件:上田地域(天神、小島、小泉、常磐城など)、丸子地域(生田、長瀬、御嶽堂、中丸子など)／農業用施設被害(ポンプ)1件:上田地域(下之郷)／教育施設被害19件:上田地域(三中、城跡公園体育施設、博物館別館など)、丸子地域(丸子北中)
令和1年8月8日(大雨)	1	16	床上浸水:上田地域(天神) 床下浸水:上田地域(天神、上田原、中之条、秋和など) 一部損壊(屋根等)1件:上田地域(築地)／公共土木被害(市道、河川)11件:上田地域(天神、上田原、中之条、古里など)／農業用施設被害(水田)1件:上田地域(古里)／教育施設被害3件:上田地域(南小、塩尻小、六中)
令和1年10月11日～10月13日 東日本台風(台風19号)	47	166	床上浸水:上田地域、丸子地域、真田地域 床下浸水:上田地域、丸子地域、真田地域、武石地域 建物被害723件／公共土木被害(市道、河川)508件／農業用施設被害(農地、用水路)591件／農作物被害95.2ha／市営住宅被害90戸／上下水道施設被害83箇所／教育施設被害88件以上(詳細は「令和元年(2019年)東日本台風(台風第19号)災害における対応等の検証報告」を参照)
令和2年8月5日(大雨)		7	床上浸水:丸子地域(上丸子・中丸子)
令和2年8月30日(大雨)		1	床下浸水:上田地域(芳田) 公共土木被害(市道)1件:武石地域(小沢根)／農業用施設被害(法面崩落)10件:上田地域(殿城)

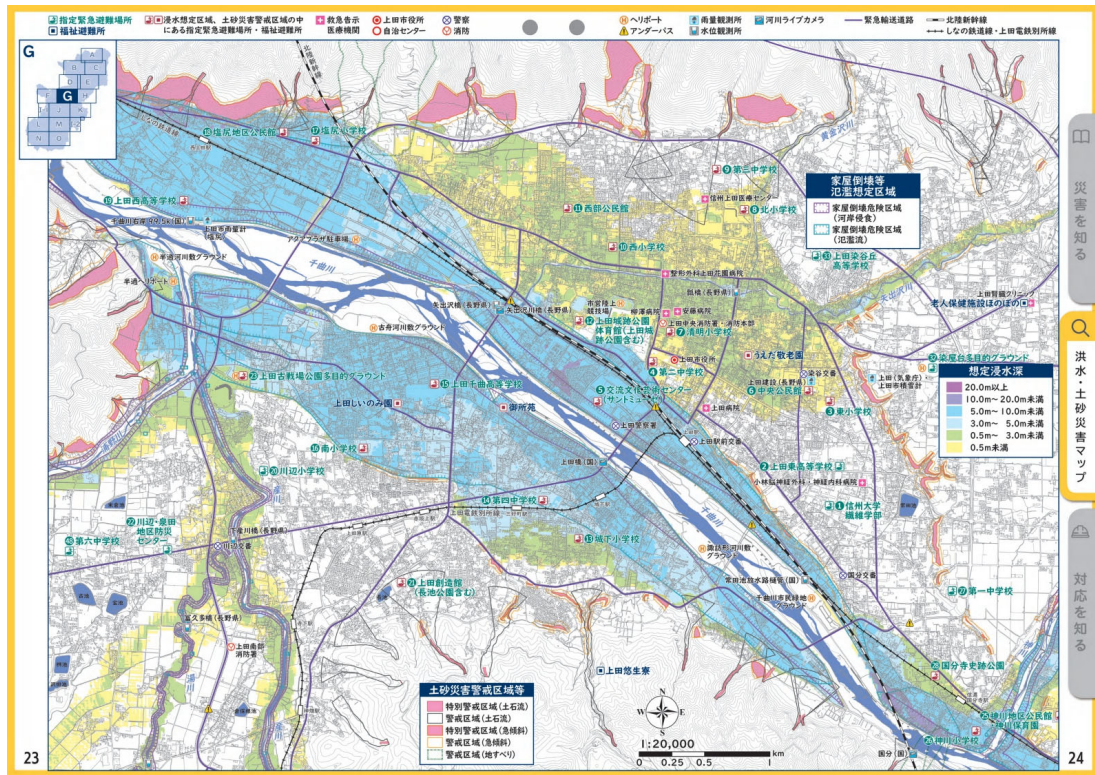
出典：R3 都市計画基礎調査

5-2 災害リスク（土砂災害（特別）区域・浸水想定区域）

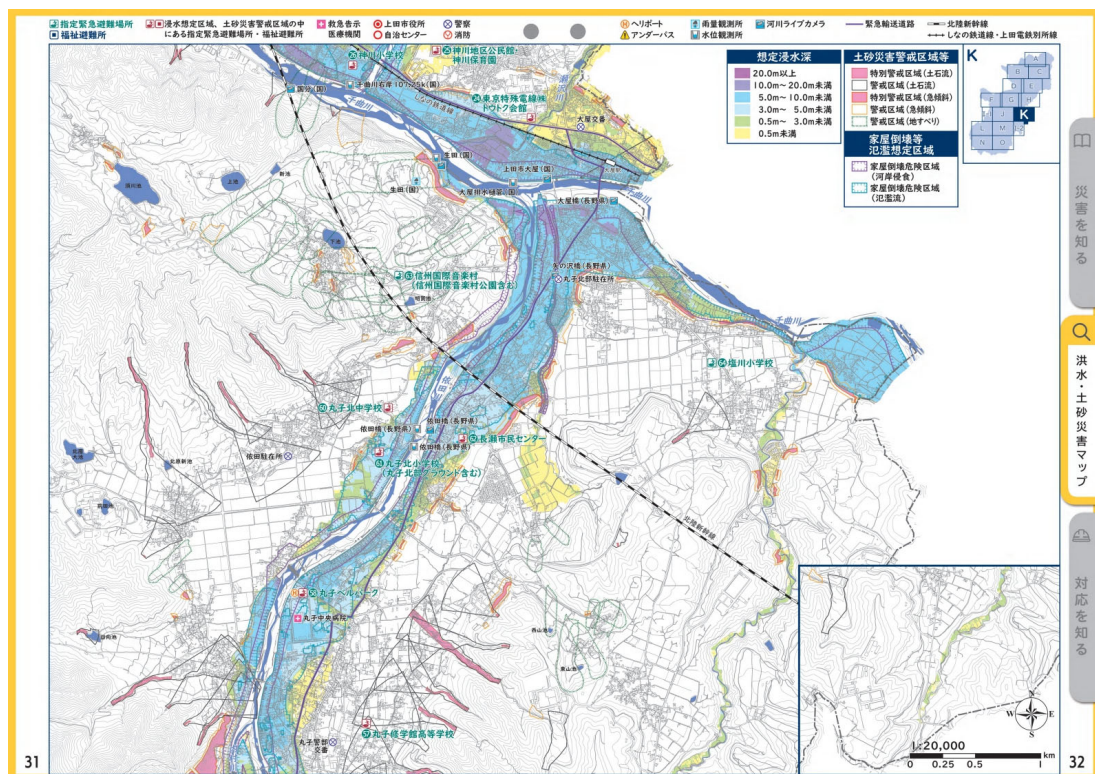
（1）土砂災害・浸水想定区域

市域は急峻な山々に囲まれており、中央の低地部に千曲川が流れているなど、地形的に土砂災害、河川氾濫などのリスクが高い地域と言えます。

また、千曲川河川沿いの上田市街地や依田川沿いの丸子市街地では、想定浸水深 5.0～10.0m未満のエリアに該当するなど、高い災害リスクを負っているとと言えます。



〔図・上田市街地周辺のハザードマップ〕



〔図・丸子市街地周辺のハザードマップ〕